

Dell™ 4220/4320 プロジェクタ
取扱説明書

メモ、注意、警告



メモ:「メモ」は、コンピュータの使用に際して役立つ重要な情報です。



注意:「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。



警告:「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2011 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標 :Dell および DELL ロゴは Dell Inc. の商標です。DLP および DLP ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル 4220/4320

2011 年 3 月 Rev. A00

目次

1	プロジェクタについて	7
	プロジェクタについて	8
2	プロジェクタの接続	10
	オプションのワイヤレスドングルの取り付け	11
	コンピュータへの接続	12
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	12
	VGA ケーブルを使用してループする一接続を モニターしてください	13
	RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続	14
	USB ケーブルでコンピュータに接続する	15
	ワイヤレスを使ったコンピュータの接続	16
	DVD プレーヤーの接続	17
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	17
	コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	18
	コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	19
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	20
	LAN (構内通信網) への接続	21
	画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワーク に接続されたプロジェクタを制御します	21

プロフェッショナル向け取り付けオプション： ドライビング自動スクリーンの取り付け	22
商用 RS232 コントロールボックスの接続	23

3 プロジェクタの使用法 24

プロジェクタの電源を入れる	24
プロジェクタの電源を切る	24
投影画像の調整	25
プロジェクタの高さを上げる	25
プロジェクタの高さを下げる	25
プロジェクタのズームとフォーカスの調整	26
投影画像サイズの調整	27
コントロールパネルの使用法	31
リモコンの使用法	33
リモートコントロールバッテリーの取り付け	36
リモコンの動作範囲	37
オンスクリーンディスプレイの使用法	38
入力ソース	38
自動調整	39
明るさ / コントラスト	40
ビデオモード	40
ボリューム	41
オーディオ入力	41
アドバンス	41
言語	57
ヘルプ	57

ワイヤレスネットワーキングのインストール	58
プロジェクトのワイヤレスを有効にする	59
コンピュータにワイヤレスアプリケーションソフト ウェアをインストールする	61
ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを 起動する	65
Presentation to Go (PtG) のインストール	70
PtG ビューア	71
写真ビューア	71
PtG/ 写真機能の概要	72
PtG 概要	72
写真概要	73
ボタンの概要	73
PtG Converter - Lite のセットアップ	74
PtG Converter - Lite アプリケーションソフト ウェア	75
オーディオ投影のインストール	76
プロジェクトのワイヤレスまたは LAN を 有効にする	77
コンピュータに Dell ワイヤレスアプリケーション ソフトウェアをインストールする	79
ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを 起動する	80
ログイン	81
ビデオストリームのインストール	83
ビデオストリームのサポート形式	83
プロジェクトのワイヤレスまたは LAN を 有効にする	84
コンピュータに Dell ワイヤレスアプリケーション ソフトウェアをインストールする	84
ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを 起動する	84

ログイン	84
Web 管理からプロジェクトの管理	85
ネットワーク設定の設定	85
Web 管理にアクセスする	85
アプリケーショントークンの作成	104
4 プロジェクトのトラブルシューティング	105
ガイド信号	109
ランプの交換	110
5 仕様	112
6 Dell へのお問い合わせ	119
7 付録：用語集	120

プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ にご連絡ください。

同梱されているもの

電源ケーブル



1.8 m VGA ケーブル (VGA - VGA)



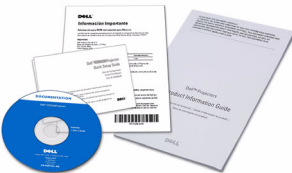
キャリーケース



リモコン



CD ユーザーガイドおよびドキュメント 単4電池 (2)



USB ケーブル

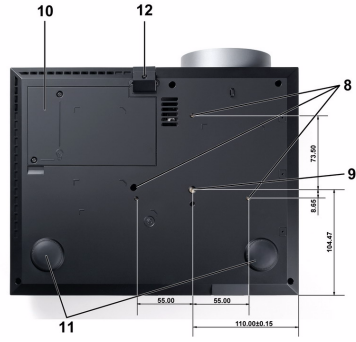


プロジェクタについて

上方図



底面図



1	コントロールパネル
2	ズームタブ
3	フォーカスリング
4	レンズ
5	エレベーターボタン（高さ調整用）
6	IR レシーバ
7	レンズキャップ
8	取付ホール（壁掛け用）ねじ穴 M3 x 6.5 mm 深度。推奨トルク <8 kgf-cm
9	取付ホール（三脚用）：インサートナット 1/4"×20 UNC
10	ランプカバー
11	傾斜調整ホイール
12	エレベーターフット

△ 注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。

- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

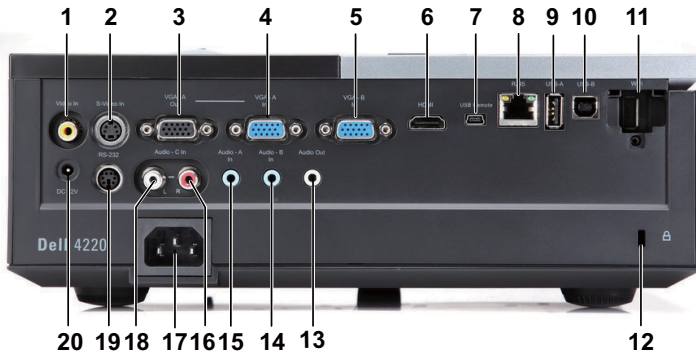


メモ：


- お客様自身でこのプロジェクタの壁取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ天井取り付けキット (P/N:C3505)。詳細については、Dell サポート Web サイト (support.dell.com) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。
- 4220/4320 プロジェクタは室内専用です。


2

プロジェクタの接続



1	コンポジットビデオコネクタ	11	WiFi USB (タイプ A) コネクタ
2	S ビデオコネクタ	12	セキュリティケーブルスロット
3	VGA-A 出力 (モニターループスルー)	13	オーディオ出力コネクタ
4	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ	14	オーディオ -B 入力コネクタ
5	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ	15	オーディオ -A 入力コネクタ
6	HDMI コネクタ	16	オーディオ -C 右チャンネル入力コネクタ
7	ミニ USB (Mini Type B) コネクタ (リモコン用)	17	電源コードコネクタ
8	RJ45 コネクタ	18	オーディオ -C 左チャンネル入力コネクタ
9	USB ビューア用 UDB タイプ A コネクタ	19	RS232 コネクタ
10	USB ディスプレイ用 UDB タイプ B コネクタ	20	+12 V DC アウトコネクタ

 **メモ:**コネクタは 4220 と 4320 プロジェクタの場合同じです。

 **注意:**この章で説明する交換処理の前に、ページ 8にある「安全上のご注意」をお読みください。

オプションのワイヤレスドングルの取り付け

ワイヤレスネットワークオプションを使用する場合、プロジェクトにワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。ページ 58の「ワイヤレスネットワークキングのインストール」を参照してください。ワイヤレスドングルは 4220/4320 プロジェクタに付属していません。Dell Web サイト www.dell.com でご購入いただけます。

- 1 ワイヤレスカバーのネジを抜いて取り外します。



- 2 ワイヤレスドングルを差し込みます。

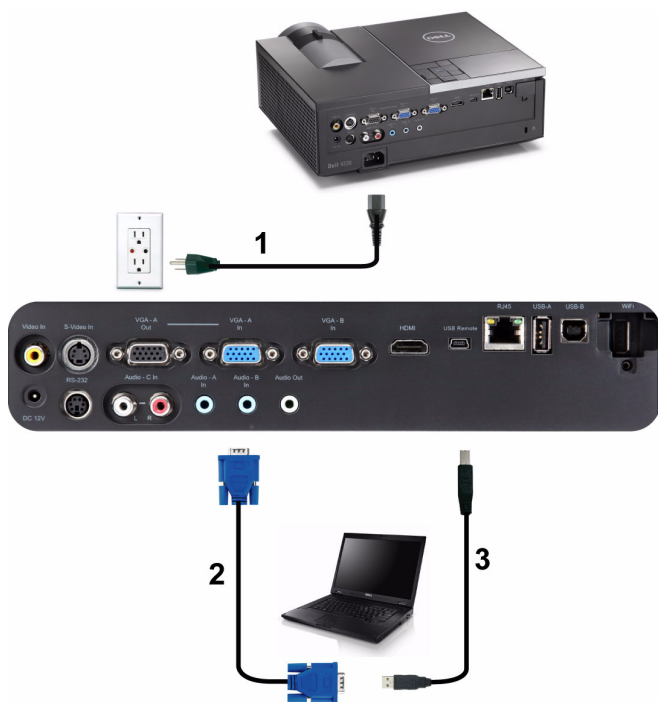


- 3 ワイヤレスカバーを取り付けます。



コンピュータへの接続

VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - ミニ USB-B ケーブル

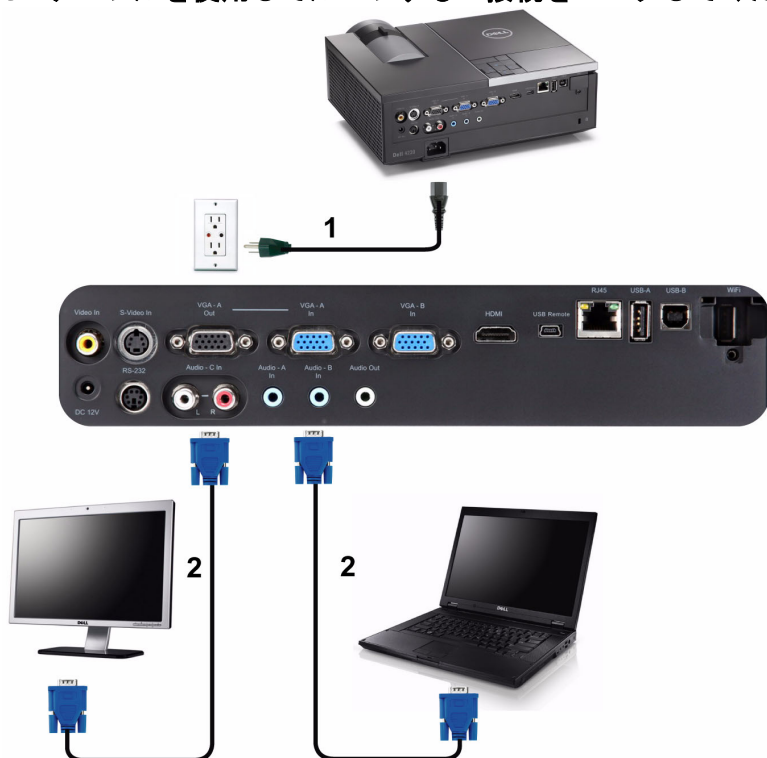


メモ：ミニ USB ケーブルは付属していません。



メモ：リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてくだ



さい

1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル



メモ: プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル

メモ：RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

USB ケーブルでコンピュータに接続する





1	電源コード
2	USB-A - USB-B ケーブル

メモ: プラグアンドプレイプロジェクトには USB ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の USB ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

ワイヤレスを使ったコンピュータの接続



-  **メモ:** 別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスコネクタを装備し適切に設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
-  **メモ:** ワイヤレスネットワークを使用する場合、プロジェクトにワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。ページ 58 の「ワイヤレスネットワークのインストール」を参照してください。

DVD プレーヤーの接続

S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	S ビデオケーブル

メモ : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) で S ビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

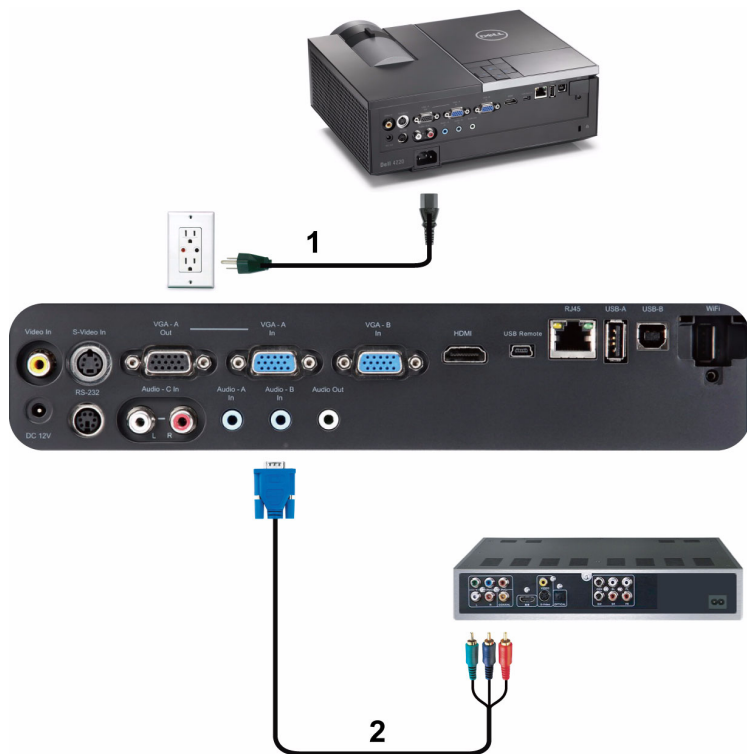


1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル



メモ: コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) でコンポジットビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル




メモ : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) で VGA - コンポーネントビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

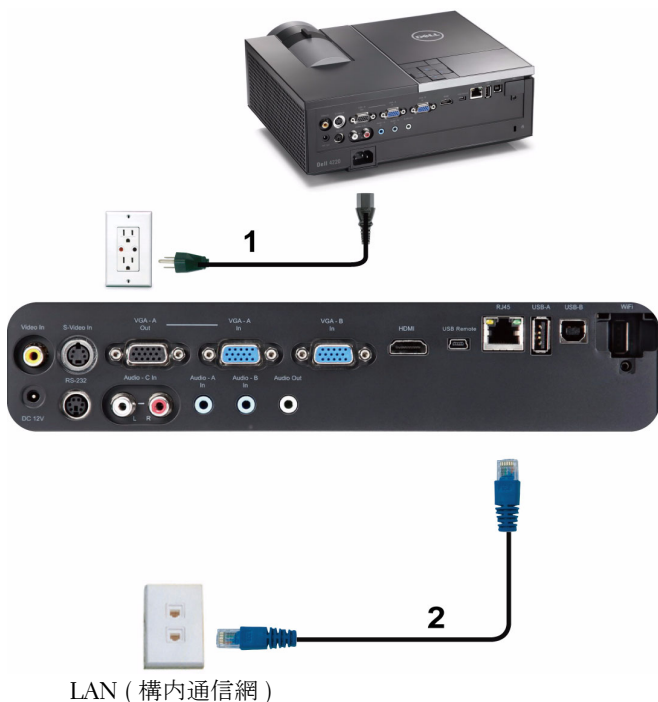


1	電源コード
2	HDMI ケーブル

 **メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

LAN (構内通信網) への接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御します。

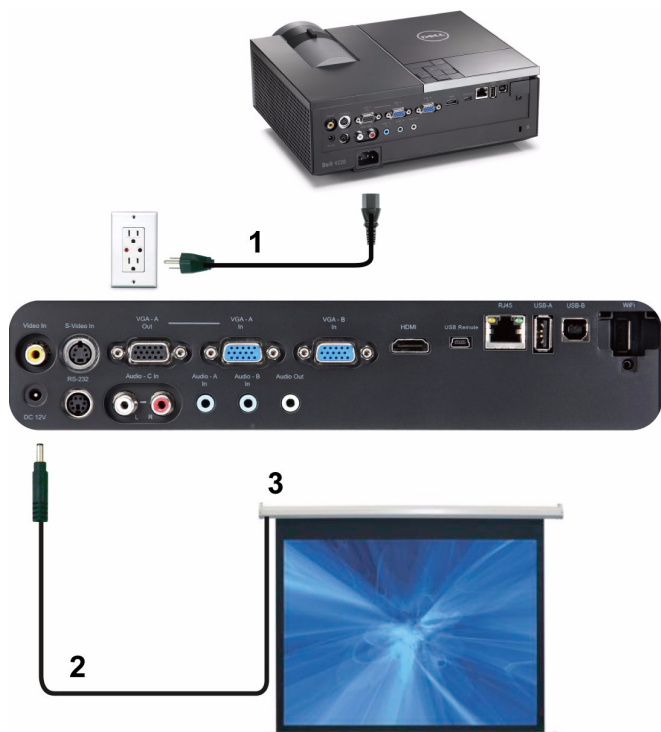


1	電源コード
2	RJ45 ケーブル



メモ : RJ45 ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で RJ45 ケーブルをご購入いただけます。

プロフェッショナル向け取り付けオプション：ドライビング自動スクリーンの取り付け



1	電源コード
2	12 V DC プラグ
3	電動式投影画面

メモ：1.7 mm (ID) x 4.00 mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12 V DC プラグインを使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。

12 V DC プラグ



商用 RS232 コントロールボックスの接続




1	電源コード
2	RS232 ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス



メモ : RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。


プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、ページ 10 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの場所については、ページ 31 の「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 5 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、ページ 10 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 6 デフォルトで、入力ソースはVGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 7 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、ページ 31 の「コントロールパネルの使用方法」とページ 33 の「リモコンの使用方法」を参照してください。

プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします」メッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンを再び押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。

3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを1秒間押し続けます。

メモ: プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。



1	エレベーターボタン
2	エレベーターフット (傾きの角度: 0 ~ 9.5 度)
3	傾斜調整ホイール

プロジェクタのズームとフォーカスの調整

△ **注意:** プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

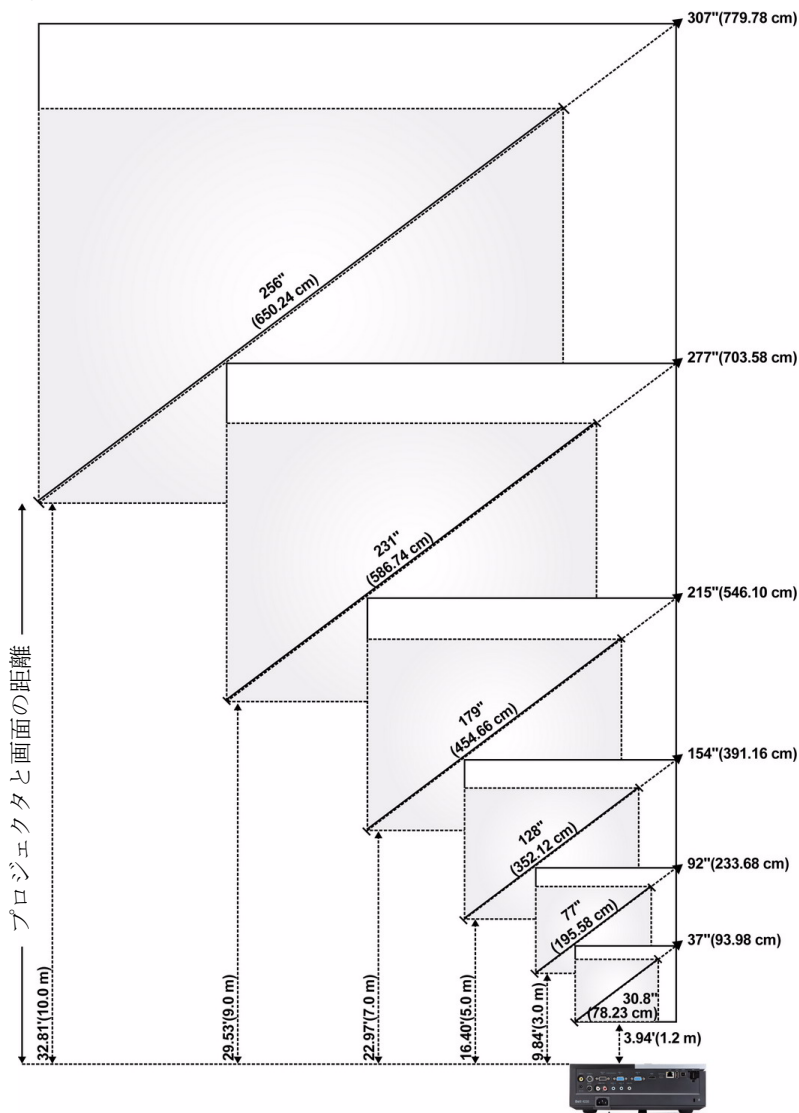
- 1 ズームタブを回して拡大または縮小します。
- 2 画像が鮮明になるまでフォーカスタブを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 120.09 cm ~ 1,000.05 cm (1.2 m ~ 10 m) です。

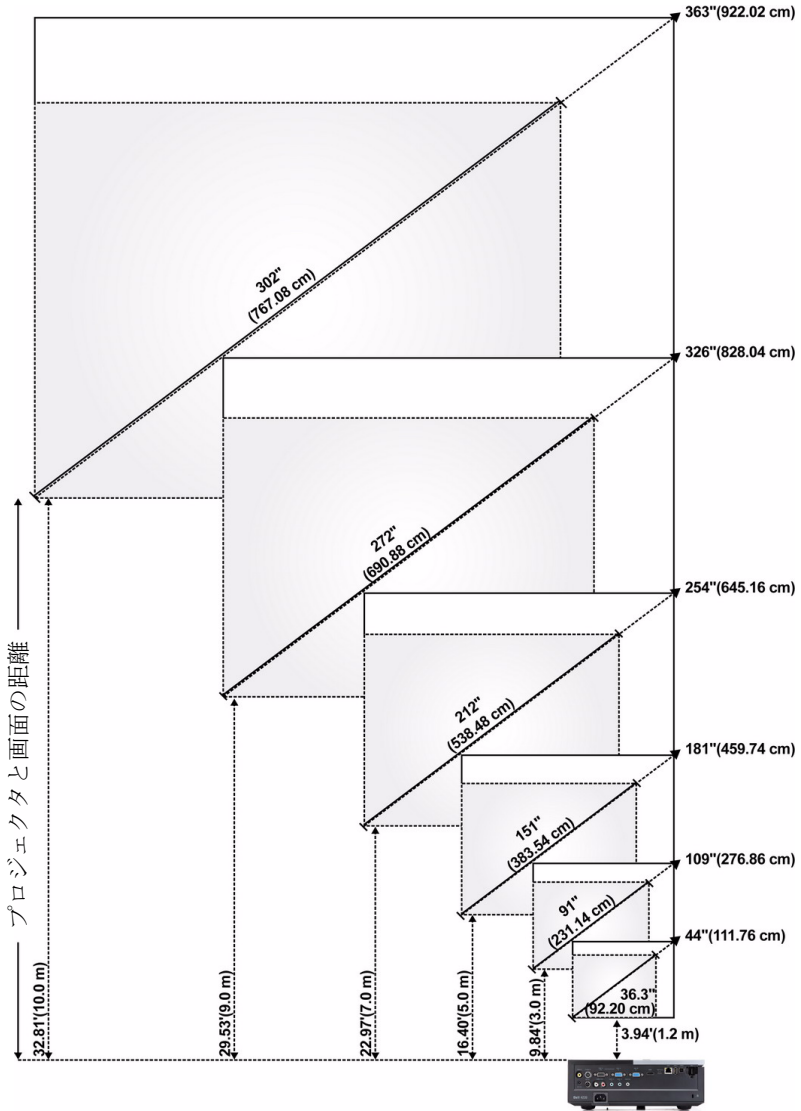


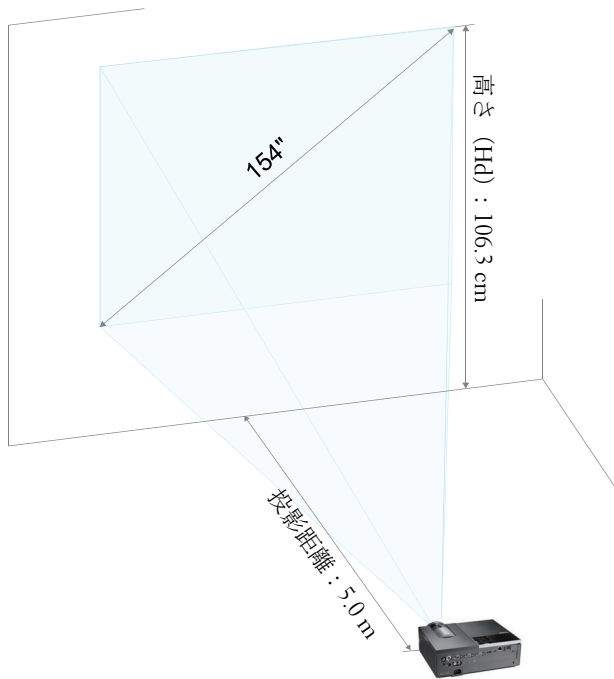
1	ズームタブ
2	フォーカスリング

投影画像サイズの調整

4220







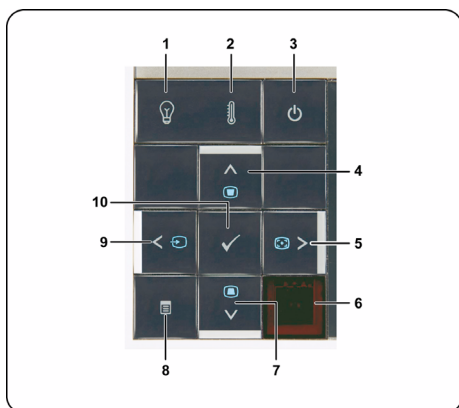
4220

画面 (対角線)	最大	37" (93.98 cm)	92" (233.68 cm)	154" (391.16 cm)	215" (546.10 cm)	277" (703.58 cm)	307" (779.78 cm)
	最小	30.8" (78.23 cm)	77" (195.58 cm)	128" (325.12 cm)	179" (454.66 cm)	231" (586.74 cm)	256" (650.24 cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高さ)	242.3" X 22.05"	74.02" X 55.51"	123.23" X 92.13"	172.44" X 129.13"	221.65" X 166.14"	246.06" X 184.65"
		(75 cm X 56 cm)	(188 cm X 141 cm)	(313 cm X 234 cm)	(438 cm X 328 cm)	(563 cm X 422 cm)	(625 cm X 469 cm)
	最小 (幅 x 高さ)	24.80" X 18.50"	61.42" X 46.06"	102.36" X 76.77"	143.70" X 107.48"	184.65" X 138.58"	205.12" X 153.94"
		(63 cm X 47 cm)	(156 cm X 117 cm)	(260 cm X 195 cm)	(365 cm X 273 cm)	(469 cm X 352 cm)	(521 cm X 391 cm)
Hd	最大	25.59" (65 cm)	63.78" (162 cm)	106.30" (270 cm)	148.43" (377 cm)	190.94" (485 cm)	212.20" (539 cm)
	最小	21.26" (54 cm)	53.15" (135 cm)	88.58" (225 cm)	123.62" (314 cm)	159.06" (404 cm)	176.77" (449 cm)
投影距離		3.94' (1.2 m)	9.84' (3.0 m)	16.40' (5.0 m)	22.97' (7.0 m)	29.53' (9.0 m)	32.81' (10 m)
* この表はユーザーの参照用です。							

4320

画面 (対角線)	最大	44" (111.76 cm)	109" (276.86 cm)	181" (459.74 cm)	254" (645.16 cm)	326" (828.04 cm)	363" (922.02 cm)
	最小	36.3" (92.20 cm)	91" (231.14 cm)	151" (383.54 cm)	212" (538.48 cm)	272" (690.88 cm)	302" (767.08 cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高さ)	37.01" X 23.23"	92.13" X 57.48"	153.94" X 96.06"	215.35" X 134.65"	276.77" X 172.83"	307.48" X 192.13"
		(94 cm X 59 cm)	(234 cm X 146 cm)	(391 cm X 244 cm)	(547 cm X 342 cm)	(703 cm X 439 cm)	(781 cm X 488 cm)
	最小 (幅 x 高さ)	30.71" X 19.29"	76.77" X 48.03"	128.35" X 79.92"	179.53" X 112.20"	230.71" X 144.09"	256.30" X 160.24"
		(78 cm X 49 cm)	(195 cm X 122 cm)	(326 cm X 203 cm)	(456 cm X 285 cm)	(586 cm X 366 cm)	(651 cm X 407 cm)
Hd	最大	25.98" (66 cm)	64.96" (165 cm)	107.87" (274 cm)	151.18" (384 cm)	194.49" (494 cm)	216.14" (549 cm)
	最小	21.65" (55 cm)	53.94" (137 cm)	90.16" (229 cm)	125.98" (320 cm)	162.20" (412 cm)	179.92" (457 cm)
投影距離		3.94' (1.2 m)	9.84' (3.0 m)	16.40' (5.0 m)	22.97' (7.0 m)	29.53' (9.0 m)	32.81' (10 m)
* この表はユーザーの参照用です。							

コントロールパネルの使用方法



1 ランプ警告ライト

ランプの黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われる。

- ランプがその耐用年数の終わりに達した
- ランプモジュールを適切に取り付けていない
- ランプドライバが故障している
- カラーホイールが故障している








詳しくは、ページ 105 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 109 の「ガイド信号」を参照してください。

2 温度警告ライト

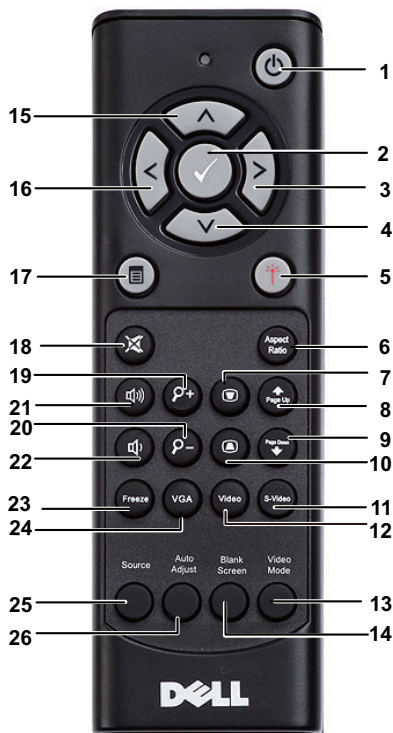
温度の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われる。





- プロジェクタの内部温度が高すぎる
- カラーホイールが故障している










詳しくは、ページ 105 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 109 の「ガイド信号」を参照してください。






3	電源	プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ24の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ24の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。
4	上  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
5	右  / 自動調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。  メモ: オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、 自動調整は作動しません。
6	IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。
7	ダウン  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーと メニュー ボタンで OSD をナビゲートします。
9	左  / ソース	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
10	エンター 	このボタンを押して選択項目を確定します。

リモコンの使用方法




- | | | |
|---|--|--|
| 1 | 電源  | プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ24の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ24の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。 |
| 2 | エンター  | このボタンを押して選択を確定します。 |
| 3 | 右  | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 |
| 4 | ダウン  | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 |

5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを起動します。
		 警告：レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けしないでください。
6	縦横比	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
7	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。  メモ： ページ上機能を使用する場合、ミニUSBケーブルを接続する必要があります。
9	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。  メモ： ページ下機能を使用する場合、ミニUSBケーブルを接続する必要があります。
10	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
11	S ビデオ	このボタンを押してS ビデオソースを選択します。
12	ビデオ	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。
13	ビデオモード	プロジェクタには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。 ビデオモード ボタンを押して プレゼンテーションモード 、 明るさモード 、 M 画モード 、 sRGB 、または カスタムモード を切り替えます。 ビデオモード ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 ビデオモード ボタンを押すと、モードが切り替わります。
14	何もうつっていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
18	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
19	ズーム +	このボタンを押して画像を上げます。
20	ズーム -	このボタンを押して画像を下げます。
21	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
22	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
23	フリーズ	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止します。「フリーズ」をもう一度押すと再生に戻ります。
24	VGA	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
25	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
26	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。

リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ**：使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。

①



2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。


②



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

③



 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 バッテリーカバーを元に戻します。

④



リモコンの動作範囲



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンで 프로젝タを適切に操作できない原因となります。

オンスクリーンディスプレイの使用法

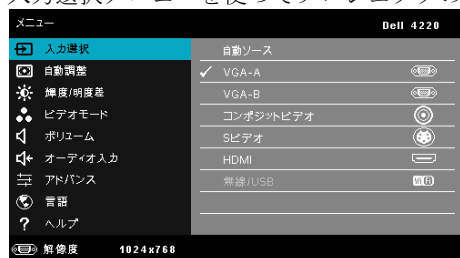
- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを押してメインメニューに入ります。
- メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの **△** ボタンまたは **▽** ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの **□** または **◇** ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの **△** または **▽** ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- コントロールパネルまたはリモコンの **△** または **▽** ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、コントロールパネルまたはリモコンの **◀** ボタンを押します。
- OSD を終了するには、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを直接おします。



メモ: OSD 構造およびセットは、4220 と 4320 モードの場合同じです。

入力ソース

入力選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



VGA-A — **□**を押して VGA-A 信号を検出します。

VGA-B — **□**を押して VGA-B 信号を検出します。

HDMI — **□**を押して HDMI 信号を検出します。

コンポジットビデオ — **□**を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

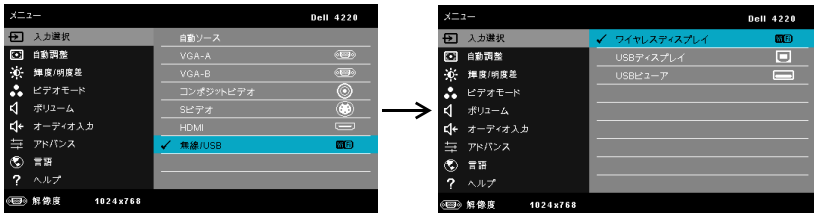
S ビデオ — **□**を押して S ビデオ信号を検出します。

無線 /USB を押して入力ソースのワイヤレス /USB メニューを起動します。

メモ: 「ワイヤレスと LAN」 オプションをオンにすると、無線 /USB を使用できるようになります。

入力選択の無線 /USB

入力選択の無線 /USB メニューにより、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューアを有効にできます。



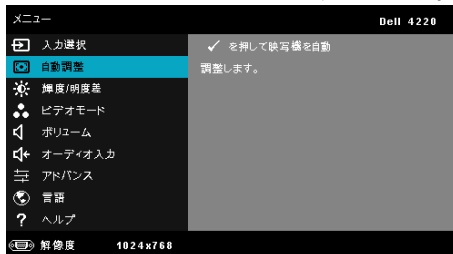
ワイヤレスディスプレイ を押してプロジェクタのワイヤレスガイド画面にアクセスします。ページ 60 の「ワイヤレスガイドスクリーン」を参照してください。

USB ディスプレイ —USB ケーブル経由で、プロジェクタにデスクトップ / ノート PC スクリーンを表示します。 .

USB ビューア —USB フラッシュから PPT ファイルに写真を表示できます。ページ 70 の「Presentation to Go (PtG) のインストール」をご覧ください。

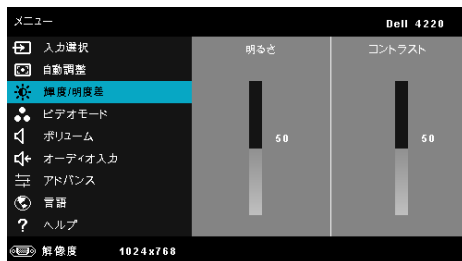
自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの水平、垂直、周波数、トラッキングモードを自動的に調整します。



明るさ / コントラスト

明るさ / コントラストメニューにより、プロジェクタの明るさ / コントラスト設定を調整できます。



明るさ — や を使って画像の明るさを調整します。

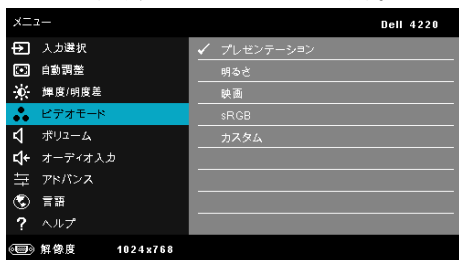
コントラスト — や を使ってディスプレイのコントラストを調整します。



メモ : 明るさおよびコントラストの設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

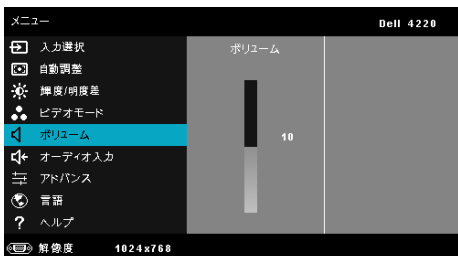
ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、および**カスタム**（お好みの色を設定します）。



ボリューム

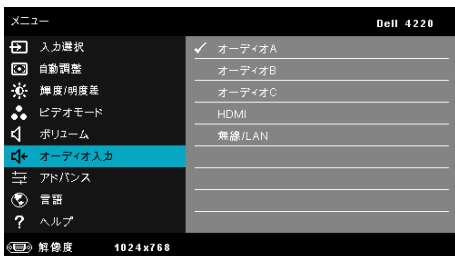
ボリュームメニューにより、プロジェクタの音量設定を調整できます。



ボリューム — を押して音量を下げ、 を押して音量を上げます。

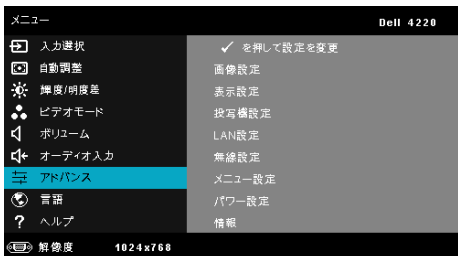
オーディオ入力

オーディオ入力メニューを使ってプロジェクタのオーディオ入力ソースを選択します。オプション：オーディオ -A、オーディオ -B、オーディオ -C、HDMI と無線 /LAN。

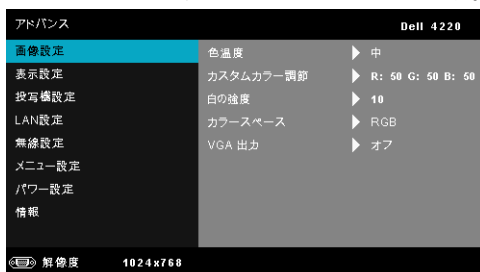


アドバンス

アドバンスメニューは、画像、表示、投写機、LAN、ワイヤレス、メニュー、電源、および情報の設定を変更します。



画像設定（PC モードで） — を選択して押し、画面設定を起動します。
画像設定 メニューには次のオプションがあります。




色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

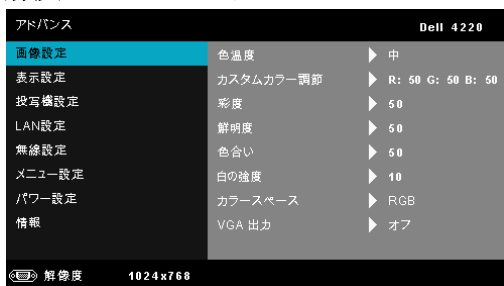
白の強度 — を押し、 と を使用して白の強度を表示します。

カラースペース — 色空間を選択します。オプション：RGB YCbCr、および YPbPr があります。

VGA 出力 — オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクトのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。

 **メモ**：色温度、カスタムカラー調節および白の強度の設定を調整すると、プロジェクトは自動的にカスタムモードに切り替わります。

画像設定（ビデオモード） — を選択して押し、画面設定を起動します。**画像設定** メニューには次のオプションがあります。



色温度 —色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。色調整メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 —赤、緑、青の色を手動で調整します。

彩度 —ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を増やし、を押して画像の色の量を減らします。

鮮明度 —を押して鮮明度を上げ、を押して鮮明度を下げます。

色合い —を押して画像の緑色の量を増やし、を押して緑色の量を減らします（NTSC用にのみ使用可能）。

白の強度 —を押し、とを使用して白の強度を表示します。

カラースペース —色空間を選択します。オプション：RGB YCbCr、およびYPbPrがあります。

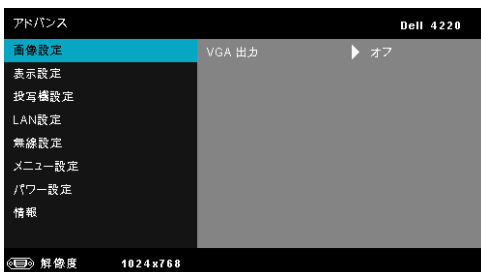
VGA出力 —オンまたはオフを選択すると、VGA出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。



メモ：

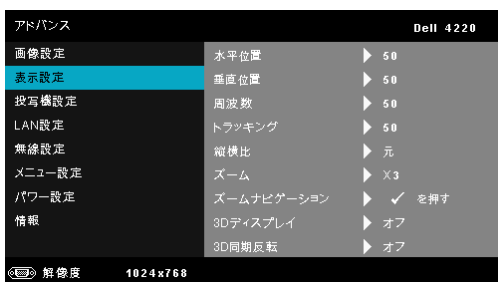
- 1 色温度、カスタムカラー調節および彩度、鮮明度、色合い、および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。
- 2 彩度、鮮明度と色合いは、入力ソースがコンポジットやSビデオから出ている場合のみ使用可能です。

画像設定（入力ソースなし） —を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。



VGA出力 —オンまたはオフを選択すると、VGA出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。

表示設定 (PC モード) — を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



水平位置 — を押して画像を右へ移動し、 を押して画像を左へ移動します。

垂直位置 — を押して画像を上へ移動し、 を押して画像を下へ移動します。

周波数 — ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング — ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:9、と 4:3。

- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

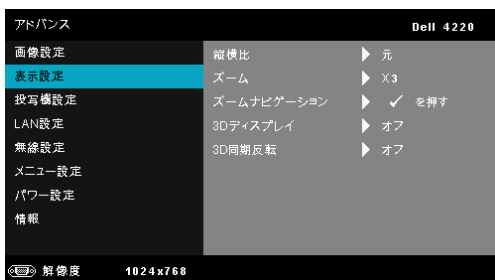
3D ディスプレイ オンを選択して 3D ディスプレ機能を起動します (デフォルトはオフ)。

 **メモ:**

1. 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - a 120 Hz 信号出力四重化バッファカードを搭載するデスクトップ PC/ ノート PC。
 - b DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - c 3D コンテンツ。「注 4」を参照してください。
 - d 3D プレーヤー。(例：ステレオプレーヤー ...)
2. 以下の条件をいくつか満たすと、3D 機能が有効になります：
 - a VGA または HDMI ケーブルにより 120 Hz 信号で出力できるグラフィックスカード搭載の、デスクトップ PC/ ノート PC。
 - b ビデオおよび S ビデオによる一連の 3D コンテンツの入力。
3. 「3D ディスプレイ」選択はプロジェクタが上記の入力のいずれかを検出するとき、「詳細設定の表示設定」メニューでのみ有効にされます。
4. 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - a VGA/HDMI 1280 x 720 120 Hz、1024 x 768 120 Hz、800 x 600 120 Hz
 - b コンポジット /S ビデオ 60 Hz
 - c コンポーネント 480i
5. ノート PC 用に推奨される VGA 信号は、単一モード出力です (デュアルモードはお勧めできません)

3D 同期反転 —DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

表示設定（ビデオモード） — を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:9、と 4:3。

- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

3D ディスプレイ — を選択して 3D ディスプレ機能を起動します（デフォルトはオフ）。

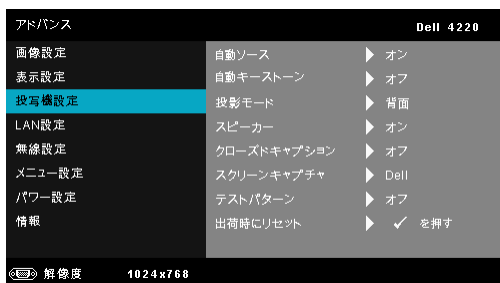
メモ：

1. 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - a 120 Hz 信号出力四重化バッファカードを搭載するデスクトップ PC/ ノート PC。
 - b DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - c 3D コンテンツ。「注 4」を参照してください。
 - d 3D プレーヤー。(例：ステレオプレーヤー ...)
2. 以下の条件をいくつか満たすと、3D 機能が有効になります：

- a VGA または HDMI ケーブルにより 120 Hz 信号で出力できるグラフィックスカード搭載の、デスクトップ PC/ ノート PC。
 - b ビデオおよび S ビデオによる一連の 3D コンテンツの入力。
3. 「3D ディスプレイ」 選択はプロジェクタが上記の入力のいずれかを検出するとき、「詳細設定の表示設定」メニューでのみ有効にされます。
 4. 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - a VGA/HDMI 1280 x 720 120 Hz、1024 x 768 120 Hz、800 x 600 120 Hz
 - b コンポジット /S ビデオ 60 Hz
 - c コンポーネント 480i
 5. ノート PC 用に推奨される VGA 信号は、単一モード出力です (デュアルモードはお勧めできません)

3D 同期反転—DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

投写機設定 を選択して押して、プロジェクト設定を起動します。プロジェクト設定メニューには次のオプションがあります。



自動ソース — オフ (デフォルト) を選択して、現在の入力信号をロックします。自動ソースモードをオフに設定した状態でソースボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。オンを選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクトの電源が入った状態でソースボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。


自動キーストーン — オンを選択して、プロジェクトを傾けた場合の歪みを自動的に調整します。

投影モード — プロジェクトの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

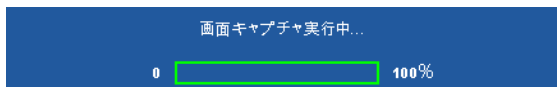
- リアプロジェクトン - デスクトップ - プロジェクトは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- 背面投影 - 天井取り付け - プロジェクトは画像を反転表示し、上下逆にします。天井取り付けで透過画面の裏面から投影できます。
- デスクトップ前面投影 これは初期設定オプションです。
- 前面投影 - 天井取り付け - 天井取り付けで投影する場合に、プロジェクトが画像を上下逆にします。


スピーカー — オンを選択してスピーカを有効にします。オフを選択してスピーカを無効にします。

クローズドキャプション — オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプションオプションの選択：CC1、CC2、CC3、CC4 を選択します。





 **メモ**：クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。

スクリーンキャプチャ—デフォルトは壁紙としての Dell ロゴです。スクリーンキャプチャオプションを選択してスクリーンディスプレイをキャプチャすることもできます。次のメッセージがスクリーンに表示されます。

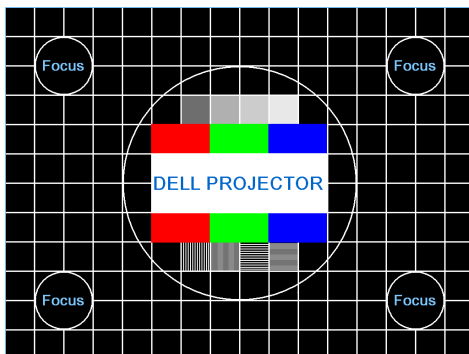


 **メモ** : フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1024 x 768 解像度であることを確認します。

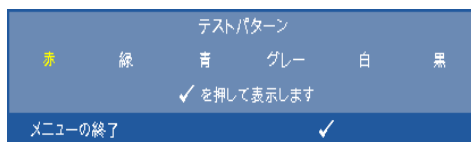
テストパターン—テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。


オフ、1、または 2 を選択して**テストパターン**の有効/無効を切り替えることができます。コントロールパネルの  と  ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、テストパターン 1 を呼び起こすこともできます。コントロールパネルの  と  ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、テストパターン 2 を呼び起こすこともできます。

テストパターン 1 :



テストパターン 2 :

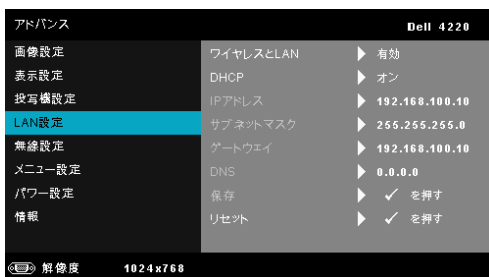


出荷時にリセット— を選択して押すと、すべての設定が工場デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます :

出荷時にリセットしています

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

LAN 設定 — を選択して押して、LAN 設定を起動します。LAN 設定メニューには次のオプションがあります。



ワイヤレスと LAN—有効 を選択すると、ワイヤレスと LAN 機能が起動します。

DHCP—プロジェクトが接続されるネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、IP アドレスは DHCP オンを選択するとき自動的に取得されます。DHCP がオフの場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。 と を使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、 と を使用して次の項目を設定します。

IP アドレス—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。

サブネットマスク—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

保存— を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

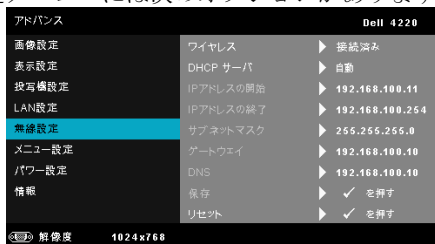
 **メモ:**

1. と ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS および保存を選択します。

2. ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - a と ボタンを使ってオプションを選択します。
 - b と ボタンを使って値を設定します。
 - c セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。
3. IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS をセットアップした後、**保存**を選択し ボタンを押して設定を保存します。
4. **Enter** ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット — を押して、ネットワーク設定をリセットします。

無線設定 — を選択して押し、ワイヤレス設定を起動します。ワイヤレス設定メニューには次のオプションがあります。



ワイヤレス — デフォルトのオプションは**接続済み**です。**切断済み**を選択すると、ワイヤレス接続が無効になります。



メモ: ワイヤレス接続に対して初期設定を使用することをお勧めします。

DHCP サーバ — ワイヤレスの DHCP サーバを有効にすることができます。


IP アドレスの開始 — DHCP サーバの開始 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。

IP アドレスの終了 — DHCP サーバの終了 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。










サブネットマスク — ワイヤレス接続のサブネットマスクを設定します。


ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。


DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

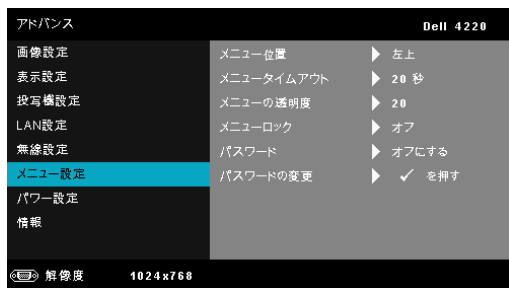
保存—を押して、ワイヤレス設定で行った変更を保存します。

メモ:

- とボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS および保存を選択します。
- ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - とボタンを使ってオプションを選択します。
 - とボタンを使って値を設定します。
 - セットアップが完了したら、ボタンを押して終了します。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS をセットアップした後、**保存**を選択しボタンを押して設定を保存します。
- Enter** ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット—を押して、ワイヤレス設定をリセットします。

メニュー設定—を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。



メニュー位置—OSD メニューの画面上の位置を変更します。

メニュータイムアウト—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

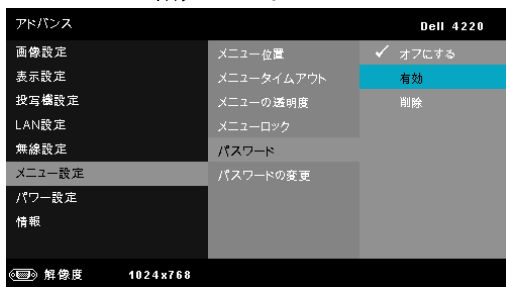
メニューの透明度—OSD 背景の透明度レベルを変更します。

メニューロック オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

パスワード パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

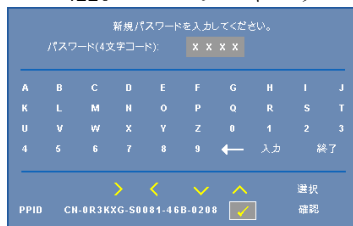
1 初回パスワード入力の要請：

- a **メニュー設定**に移動し、を押したら**パスワード**を選択しパスワード設定を**有効**します。

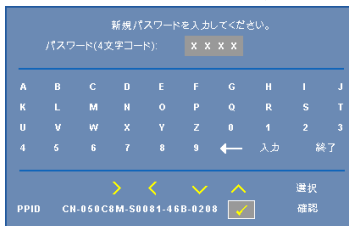


- b パスワード機能を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。

4220 パスワードスク




4320 パスワードスク



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。

- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと2回で正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。

 **メモ:** パスワードを忘れた場合は、DELL™ または正規サービス技術者までご連絡ください。

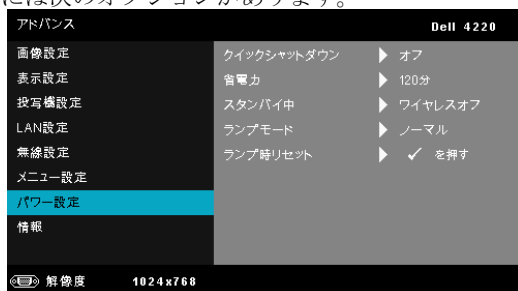
- 3 パスワード機能を無効にするには、**無効オプション**を選択して機能を閉じます。
- 4 パスワードを削除するには、**削除オプション**を選択します。

パスワードの変更 元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。


4220 パスワードの変更スクリーン 4320 パスワードの変更スクリーン

The image displays six screenshots of a projector's password change interface, arranged in a 3x2 grid. Each screenshot shows a control panel with a numeric keypad (0-9) and a letter keypad (A-Z). The top row shows the '元のパスワードを入力してください。' (Enter original password) screen with 'パスワード(4文字コード): X X X X'. The second row shows the '新規パスワードを入力してください。' (Enter new password) screen with 'パスワード(4文字コード): X X X X'. The third row shows the '新しいパスワードを再入力してください。' (Re-enter new password) screen with 'パスワード(4文字コード): X X X X'. The bottom row of screens shows the same steps for a different model, with 'パスワード(4文字コード): X X X X'. Each screen also displays the model number 'PPID CN-0R3KXG-S0081-46B-0208' and a '確認' (Confirm) button.

パワー設定 を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。



クイックシャットダウン—オンを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

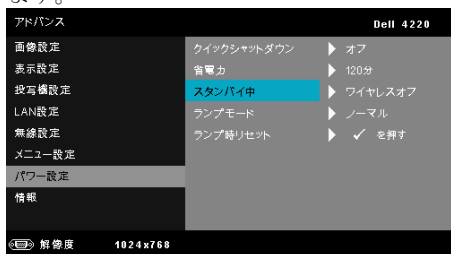
 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約30秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

省電力—オフを選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは120秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は30分、60分、90分、120分に設定できます。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

スタンバイ中—プロジェクトタがスタンバイ状態に入っている間に（デフォルトはワイヤレスオフ）、**ワイヤレスオン**または**オフ**を選択してワイヤレス /LAN モジュールをオン / オフに設定することもできます。



ランプモード—ノーマルまたはエコモードから選択します。

ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミナンス出力が弱くなります。

ランプリセット— を押して**確認**オプションを選択し、ランプ時間をリセットします。

情報—情報メニューには、現在の 4220 または 4320 プロジェクタ設定が表示されます。



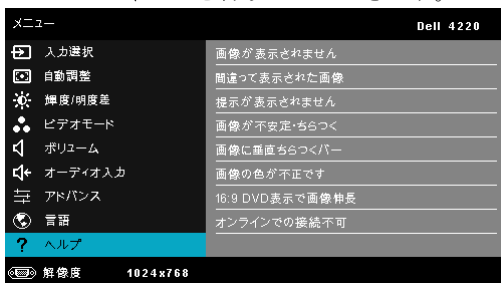
言語

OSD 用の言語を設定します。を押して言語メニューを起動します。




ヘルプ

プロジェクトに問題が発生した場合、ヘルプメニューにアクセスしてトラブルシューティングを行うことができます。



ワイヤレスネットワーキングのインストール

 **メモ:** コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム:

- Windows

Microsoft Windows 2000™ with service pack 4 以降、Windows XP™ Home または Professional Service pack 2 32 ビット (推奨)、Windows Vista 32 ビット、Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- MAC


MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア:

- a Intel Dual Core 1.4 MHz 以上
- b 256 MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨
- c 10 MB の空きハードディスク容量
- d 64 MB VRAM 以上を搭載した nVIDIA または ATI グラフィックカード
- e イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)
- f WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g または 802.11n WiFi デバイス)

Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) または 8.0、Firefox 1.5 または 2.0、および 3.0 と above

 **メモ:** ワイヤレスネットワーキングのインストールステップは、4220 と 4320 モードの場合同じです。

プロジェクタのワイヤレスを有効にする






プロジェクタをワイヤレスで使用するには、以下のステップを完了する必要があります。

- 1 オプションのワイヤレスドングルを取り付けます。ページ 11 の「オプションのワイヤレスドングルの取り付け」をご覧ください。
- 2 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押します。



- 3 プロジェクタコントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押します。



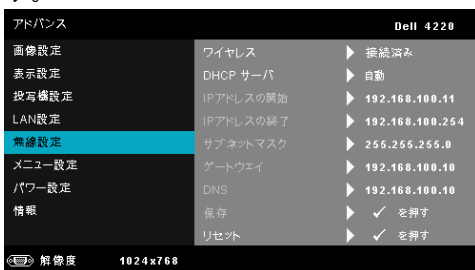
メモ： 、、、 ボタンを使用して  をナビゲートし選択します。

- 4 ワイヤレス接続デフォルトが**有効**になります。ページ 51 の「無線設定」をご覧ください。
- 5 入力ソースメニューにアクセスし、**無線/USB** を選択し、サブメニューで**ワイヤレスディスプレイ**を引き続き選択します。ページ 39 の「入力選択の無線/USB」をご覧ください。

ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



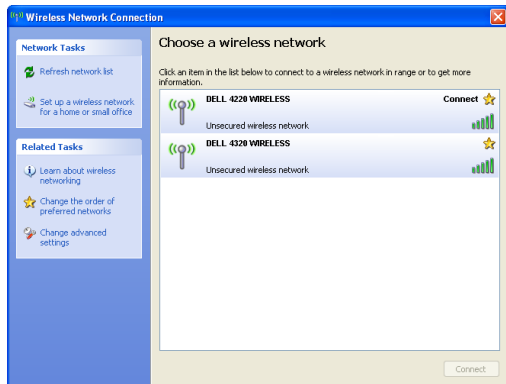
メモ：ワイヤレス接続が無効になっている場合、以下のステップに従ってセットアップします：アドバンス → 無線設定 → ワイヤレス → 接続済み。このステップでワイヤレスオプションが選択されている場合、画像入力ソースはワイヤレススクリーンに自動的に切り替わります。



- 6 ログインコード、ネットワーク名 (SSID)、および IP アドレスをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

コンピュータにワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする

7 コンピュータを 4220 または 4320 ワイヤレスネットワークに接続します。

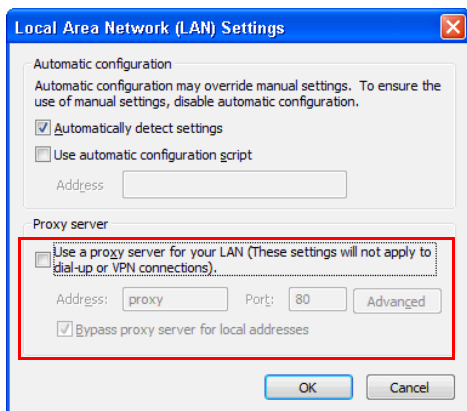


メモ:

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- 4220 または 4320 ワイヤレスネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。



メモ: すべてのプロキシをオフにするのを忘れないでください。
(Microsoft® Windows Vista : コントロールパネル → インターネットオプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



- 8 インターネットブラウザを開きます。4220 または 4320 Web 管理 Web ページに自動的にジャンプします。



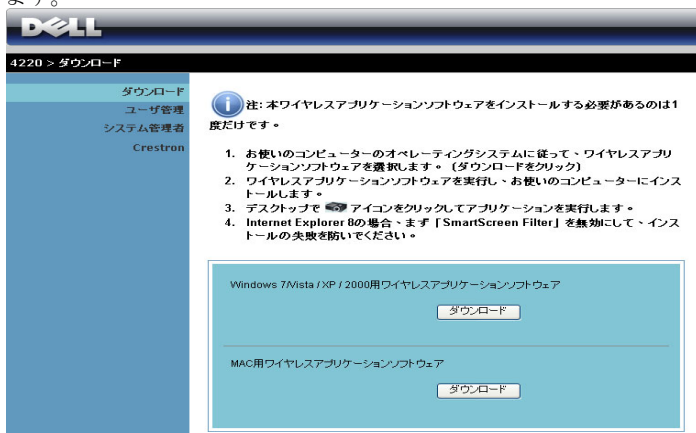
メモ : Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタの画面からメモした IP アドレスを入力してください（デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10）。



- 9 4220 または 4320 Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード**をクリックします。



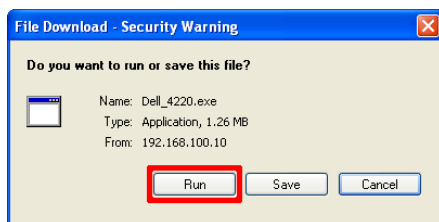
- 10 適切なオペレーティングシステムを選択し、ダウンロードをクリックします。



- 11 ファイル名を指定して実行をクリックして、ソフトウェアの1回限りのインストールに進みます。

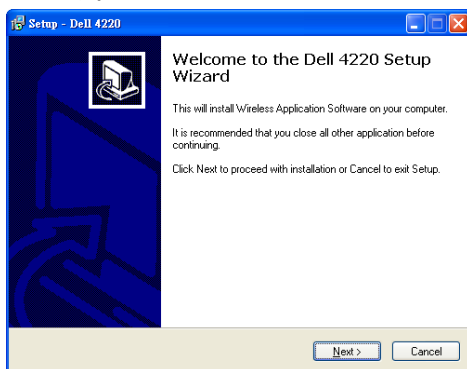


メモ: ファイルを保存して後でインストールを選択することができます。これを実行するには、**保存**をクリックします。



メモ: コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 12 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを起動する

インストールが完了すると、4220 または 4320 ワイヤレスアプリケーションソフトウェアが起動し、プロジェクトを自動的に検索します。以下の画面が表示されます。



ログイン


プロジェクトとコミュニケーションを取るには、ワイヤレスネットワークのインストールのステップ6で提供されたログインコードを入力し、OKをクリックします。

4220 ログイン画面



4320 ログイン画面
















 **メモ**: IPアドレスが検出されない場合、画面左下に表示されるIPアドレスを入力します。

ボタンを理解する






ログインが成功すると、次の画面が表示されます。

投影モード







項目	説明	
1	ステータスバー	IPとログインコード情報を表示します。
	 メニュー	このアイテムをクリックすると、アプリケーションメニューがアクティブになります。
	 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2	ステータモード	
	 投影モード	このアイテムをクリックすると、投影モードがアクティブになります。
	 ビデオモード	このアイテムをクリックすると、ビデオモードがアクティブになります。
3	コントロールツールバー	
	 全画面	このアイテムをクリックすると、全画面で画像を投影します。
	 分割1	このアイテムをクリックすると、画面左上の画像が投影されます。
	 分割2	このアイテムをクリックすると、画面右上の画像が投影されます。
	 分割3	このアイテムをクリックすると、画面左下の画像が投影されます。
	 分割4	このアイテムをクリックすると、画面右下の画像が投影されます。
	 停止	このボタンをクリックすると投影が停止されます。
	 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
	 オーディオ投影	このボタンをクリックするとオーディオ投影が有効になります。
4	接続ステータス	
	 接続アイコン	投影が進行中の時に点滅します。

プレゼンテーションの投影

- プレゼンテーションを投影するには、投影ボタンのどれかをクリックします 。
- プレゼンテーションを一時停止するには、 をクリックします。アイコンが緑に変わります。
- プレゼンテーションを続行するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションをオーディオ投影するには、 をクリックします。ページ 76 の「オーディオ投影のインストール」をご覧ください。
- プレゼンテーションを停止するには、 をクリックします。

ビデオモード



項目	説明
1	コントロールツールバー
 開く	このボタンをクリックすると、フォルダが開き、ビデオまたは音楽ファイルを検索します。
 投影	このボタンをクリックすると、プレーヤーを開始します。
 停止	このボタンをクリックすると、プレーヤーを停止します。
 消音	このボタンをクリックすると、消音にしたり消音を解除します。




メモ: 次の情報は、ワイヤレスデータプレゼンテーションモード専用です。ビデオクリップまたはアニメーションを表示している場合、画像ディスプレイが遅くなるかスムーズに表示されない可能性があります。詳しくは、以下のフレームレートを参照してください。

ワイヤレスプレゼンテーションのフレームレート


画面変動 % ¹	推定フレーム / 秒 ²
<5 %	30
<10%	28
<20%	26
<40%	25
<75%	22
<=100%	20

メモ:

- 1 画面変動のパーセンテージは 1024 x 768 に基づいています。例えば、1024 x 768 デスクトップに 320 x 240 を表示する場合、画面変動は 9.8% です。
- 2 実際のフレームレートは、ネットワーク環境、画像コンテンツ、信号条件、場所、CPU パフォーマンスなどの要因によって異なります。
- 3 802.11g 接続を使用するクリーンな WLAN 環境下では、画面の伸縮はありません。
- 4 1024 x 768 に 802.11g の下で圧縮されます。

 **メモ:** ワイヤレス、USB ディスプレイおよび USB ビューアプレゼンテーションを実行しているとき、コンピュータは S1 (スタンバイモード) / S3 (スリープモード) / S4 (ハイバーネートモード) に入りません。

メニューを使う

 をクリックしてメニューを表示します。

Web管理 プロジェクトの検索 Application Tokenウィザード
情報
このソフトウェアについて 終了

WEB 管理 —このボタンをクリックしてWeb 管理ページを開きます。ページ 85 の「Web 管理からプロジェクトの管理」をご覧ください。

プロジェクトの検索 —このボタンをクリックしてワイヤレスプロジェクトを検索し、接続します。

APPLICATION TOKEN ウィザード —このボタンをクリックしてアプリケーショントークンを作成します。ページ 104 の「アプリケーショントークンの作成」をご覧ください。

情報 —このボタンをクリックすると、システム情報が表示されます。

このソフトウェアについて —このアイテムをクリックすると、アプリケーションバージョンが表示されます。

終了 —このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。

Presentation to Go (PtG) のインストール

PtG をインストールするためのシステムの最小要件：

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP® Home または Professional Service pack 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista 32 ビット、および Windows® 7 Home または Professional

32 ビットまたは 64 ビット

- Office 2003 または Office 2007



メモ：Go (PtG) のインストールステップのプレゼンテーションは、4220 と 4320 モードの場合同じです。

USB ビューアを使用するには、以下のステップを完了する必要があります。「ワイヤレスと LAN」オプションおよび「ワイヤレス接続」のデフォルトは有効になっています。

- 1 USB フラッシュをプロジェクタに差し込みます。



メモ：

- 10 MB x 40 M ピクセル内で JPEG 形式の写真のみをサポートします。
 - PtG コンバータは、PowerPoint ファイルを PtG ファイルに変換することができます。ページ 75 の「PtG Converter - Lite アプリケーションソフトウェア」をご覧ください。
 - 「PtG Converter - Lite」は、Dell サポートサイト：support.dell.com からダウンロードできます。
- 2 入力ソースメニューで、無線/USB を選択し、サブメニューで USB ビューアを引き続き選択します。ページ 39 の「入力選択の無線/USB」をご覧ください。



メモ：

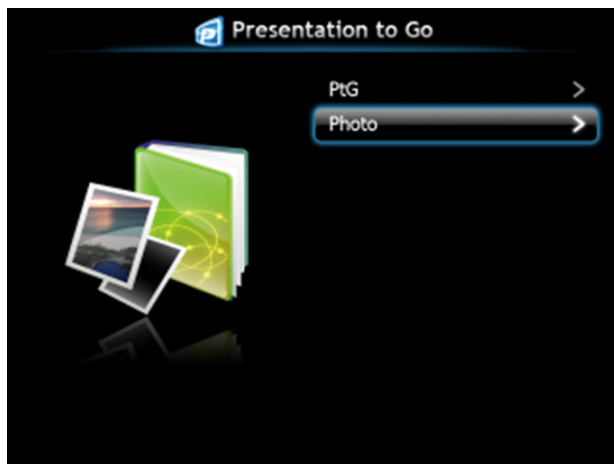
- 1 ワイヤレスと LAN 機能が無効になっている場合、LAN 設定メニューに移動し、ワイヤレスと LAN オプションの有効を選択してワイヤレスと LAN 機能を有効にします。
- 2 ワイヤレス接続の接続が解除されている場合、無線設定メニューに移動し、ワイヤレスオプションの接続済みを選択してワイヤレス接続を有効にします。

PtG ビューア

準備ができると、このページが表示されます。




写真ビューア



PtG/ 写真機能の概要

USB ディスクに保存された PtG と写真ファイルを表示します。

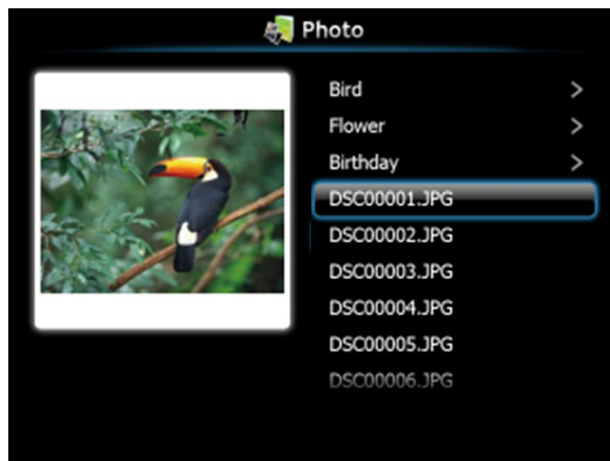
 **メモ:**1つしかディスクが検出されないと、このステップをスキップします。




PtG 概要









写真概要




-  **メモ**：14の言語の写真ファイル名形式をサポートします（言語：英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、朝鮮語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語）。

ボタンの概要

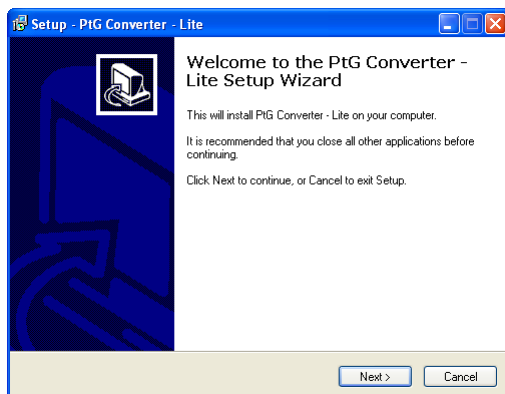
上、下および左ボタンを使ってナビゲートし、プロジェクトのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンを使って選択します。

ボタン	上 	ダウン 	左 	右 	エンター 
PtG 機能	上	下	戻る	機能なし	入力
PtG 再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	次の一時停止
写真機能	上	下	戻る	機能なし	入力
写真再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	機能なし

-  **メモ**：PtG を使用している間 OSD に入る場合、上、下および左ボタンによる PtG ナビゲーションは機能しません。

PtG Converter - Lite のセットアップ


スクリーンの指示に従って、セットアップを完了してください。

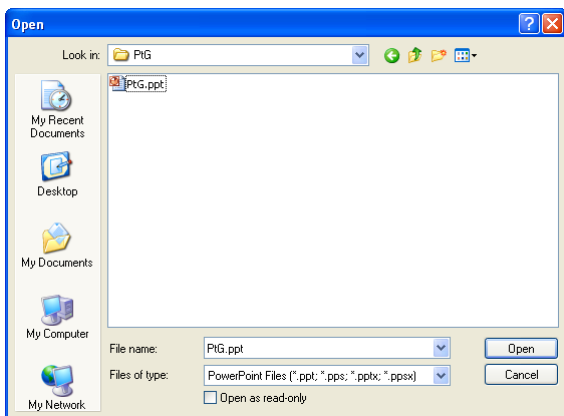


PtG Converter - Lite アプリケーションソフトウェア

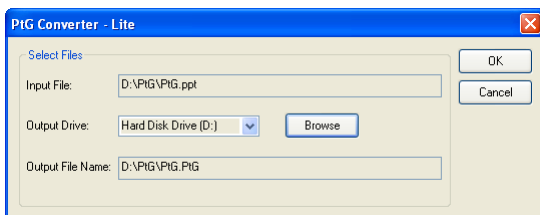
「PtG Converter - Lite」を起動してください。以下の画面が表示されます。



- 1  をクリックして変換を開始します。
- 2 変換する PowerPoint ファイルを選択します。



- 3 参照ボタンをクリックして保管場所を選択し、OK を押します。



メモ:

- 1 コンピュータに MS PowerPoint がインストールされていないと、ファイル変換はできません。
- 2 PtG コンバータは、20 ページまでサポートします。
- 3 PtG は、ppt ファイルの .PtG ファイルへの変換のみをサポートします。

オーディオ投影のインストール

オーディオ投影では、ワイヤレスディスプレイと LAN 設定のソースのみをサポートしています。

システムの最小要件：

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP® Home または Professional Service pack 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista 32 ビット、および Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

最低ハードウェア：

- a Intel® Core™ i5-460 MHz (2.53 GHz/Turbo 2.8 GHz) 以上
- b 1 GB DDR3 VRAM 独立グラフィックカード以上推奨
- c 1066 MHz で 2 GB デュアルチャンネル DDR3 SDRAM メモリ以上推奨
- d ギガビットイーサネット
- e WLAN 接続用に Integrated 802.11 b/g/n Wi-Fi デバイス



メモ：オーディオ投影機能では MAC オペレーティングシステムをサポートしていません。



メモ：コンピュータがハードウェアの最小要件を満たしていない場合、オーディオ投影が遅くなったりノイズが生じる可能性があります。オーディオ投影のパフォーマンスを最適にするには、システムの推奨最小要件を満たしてください。



メモ：オーディオ投影設定ステップは、4220 と 4320 モードの場合同じです。

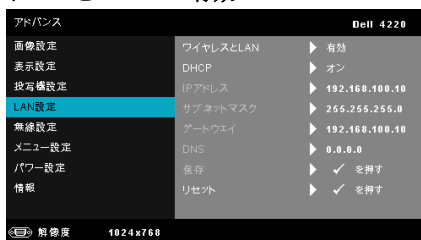
以下のステップに従ってオーディオ投影機能をセットアップします：

プロジェクトのワイヤレスまたは LAN を有効にする

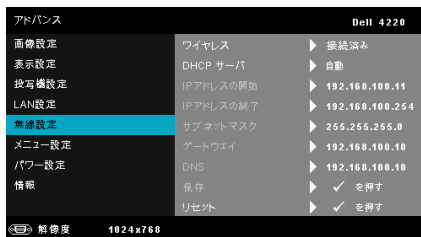
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



- 2.1 LAN 接続モードを選択した場合、以下のステップに従ってワイヤレスと LAN 機能を有効にします（デフォルトは有効）。詳細設定 → LAN 設定 → ワイヤレスと LAN → 有効。

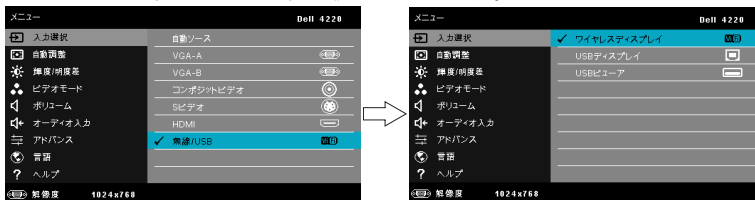


- 2.2 ワイヤレス接続モードを選択した場合、以下のステップに従ってワイヤレス接続を有効にします（デフォルトは接続済み）。詳細設定 → 無線設定 → ワイヤレス → 接続済み。



メモ：4220 または 4320 プロジェクタでワイヤレス接続を使用する場合、オプションのワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。ページ 11 の「オプションのワイヤレスドングルの取り付け」をご覧ください。

- 3 入力ソースメニューにアクセスし、無線/USBを選択し、サブメニューでワイヤレスディスプレイを引き続き選択します。



ワイヤレスガイドスクリーンが以下に表示されます。



- 4 ログインコード、ネットワーク名 (SSID)、および IP アドレスをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

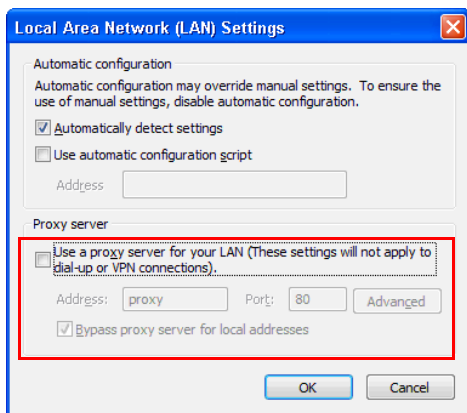
コンピュータに Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする

- LAN ケーブルをプロジェクトとコンピュータに接続します。




メモ: プロジェクタにオプションのワイヤレスドングルを取り付けている場合、ワイヤレス接続を選択することもできます。ページ 61 の「ワイヤレス接続」を参照してください。

メモ: すべてのプロキシをオフにすることをお勧めします。
(Microsoft® Windows 7 : コントロールパネル → インターネットオプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



- オーディオ投影のセットアップにワイヤレスまたは LAN を使用している場合、「ワイヤレスアプリケーションソフトウェア」が必要になります。初めてオーディオ投影を使用する際に、このソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。すでにインストールされている場合は、ステップ 6～7 を省略してください。

 **メモ：**「ワイヤレスアプリケーションソフトウェア」のインストールが必要なのは1回だけです。

- 7 ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのダウンロードとインストールステップについては、ページ 61 の「ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする」を参照してください。

ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを起動する

- 8 インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動します。または、デスクトップでアイコン  または  をダブルクリックして、アプリケーションを起動することもできます。



 **メモ：**

- 1 LAN 接続モードを選択した場合、**スキップ**をクリックします。
- 2 ワイヤレス接続モードを選択した場合、プロジェクトを選択し、**OK**をクリックします。

ログイン

- 9 プロジェクタとコミュニケーションを取るには、ログインコードを入力し（ステップ4参照）、OKをクリックします。

4220 ログイン画面



4320 ログイン画面



メモ: IPアドレスが検出されない場合、ワイヤレス画面左下に表示されるIPアドレスを入力します。

- 10 4220または4320ワイヤレスアプリケーションにログインできるようになりました。アプリケーションの投影ボタンを押して、LANまたはワイヤレス投影を開始します。



メモ: コントロールを使って、全画面モードまたは分割画面モードで投影することができます。

- 11 アプリケーションのオーディオ投影ボタンを押して、オーディオ投影機能を有効にします。



メモ: コンピュータにドライバがインストールされていない場合、オーディオ投影機能では特別なドライバをインストールする必要があります。画面にドライバのインストールが必要な旨を示すメッセージがポップアップ表示されます。特別なドライバは、Dell サポートサイト：support.dell.com からダウンロードできます。

- 12 コンピュータで Windows Media Player またはその他のオーディオプレーヤーソフトウェア（Winamp プレーヤーなど）を実行します。



ビデオストリームのインストール

ビデオストリームでは、ワイヤレスディスプレイおよび LAN ディスプレイソースのみサポートしています。

システムの最小要件：

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP® Home または Professional Service pack 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista™ 32 ビット、または Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- MAC

MacBook Pro 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

- a Dual® Core™ 1.4 GHz 以上
- b 64 MB VRAM 独立グラフィックカード以上推奨
- c 2 GB DDR SDRAM メモリ以上推奨
- d ギガビットイーサネット
- e WLAN 接続用に Integrated 802.11 b/g/n Wi-Fi デバイス



メモ：コンピュータがハードウェアの最小要件を満たしていない場合、ビデオストリームが遅くなる可能性があります。ビデオストリームのパフォーマンスを最適にするには、システムの推奨最小要件を満たしてください。



メモ：ビデオストリーム設定ステップは、4220 と 4320 モードの場合同じです。

ビデオストリームのサポート形式

ファイル形式	ビデオ形式	オーディオ形式
MP4	AVC、MPEG4 visual、H.263	AAC-LC、MP3、AMR NB
MOV	AVC、MPEG4 visual、H.263	AAC-LC、MP3
ASF	VC1	WMA

プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

「オーディオ投影のインストール」のステップ 1～4 を参照して、ワイヤレスまたは LAN 機能を有効にしてください。

コンピュータに Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする

「オーディオ投影のインストール」のステップ 5～7 を参照して、Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールしてください。

ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを起動する


「オーディオ投影のインストール」のステップ 8 を参照して、ワイヤレスアプリケーションを起動してください。

ログイン

「オーディオ投影のインストール」のステップ 9 を参照して、アプリケーションにログインしてください。

- 1 4220または4320ワイヤレスアプリケーションにログインできるようになりました。**ビデオモード**ボタンをクリックして、ビデオモード画面に切り替えます。



- 2  をクリックして、ビデオまたは音楽ファイルを選択し、プレーヤーを開始します。


Web 管理からプロジェクトの管理

ネットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、ページ 50 の「LAN 設定」を参照してください。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 5.0 以降または Firefox 1.5 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

 **メモ:** Web 管理およびセットは、4220 と 4320 モードの場合同じです。

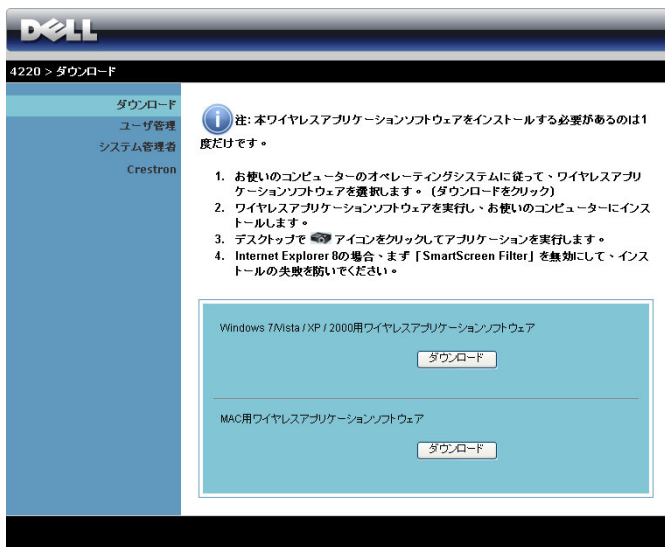
ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。ページ 50 の「LAN 設定」をご覧ください。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。

ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのダウンロード

ページ 58 の「ワイヤレスネットワークワークのインストール」を参照してください。



4220 > ダウンロード

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者
Crestron

i 注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。

1. お使いのコンピューターのオペレーティングシステムに従って、ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを選択します。(ダウンロードをクリック)
2. ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを実行し、お使いのコンピューターにインストールします。
3. デスクトップで アイコンをクリックしてアプリケーションを実行します。
4. Internet Explorer 8の場合、まず「SmartScreen Filter」を無効にして、インストールの失敗を防いでください。

Windows 7/Vista / XP / 2000用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア
ダウンロード

MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア
ダウンロード

コンピューターの対応するオペレーティングシステムの **ダウンロード** ボタンをクリックします。

ユーザ管理

これにより、プロジェクタケーブルを使わずにさまざまなソースから会議のプレゼンテーションをホストし、各プレゼンテーションが画面に表示される方法を制御することができます。



メモ: 会議撮影コントロールがない場合、アプリケーションの「再生」ボタンを押した最後のユーザーが全画面投影をコントロールします。

パソコン名: 会議制御用にログされたコンピュータを一覧表示します。

投影コントロール: ボタンをクリックして、各コンピュータの投影がスクリーンに表示される方法を制御します。

- 全画面投影 コンピュータからのプレゼンテーションがスクリーン全体に占められます。
- 1 分割 1 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左上に表示されます。
- 2 分割 2 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右上に表示されます。
- 3 分割 3 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左下に表示されます。
- 4 分割 4 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右下に表示されます。
- 停止 - コンピュータからの投影が停止します。

IP アドレス: 各コンピュータの IP アドレスを表示します。

メモ: 会議を終了するには、**ホーム**をクリックします。

プロジェクトの管理

システム管理者

4220 > システム管理者


ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者
Crestron

管理者パスワード	<input type="text"/>	ログイン
PPID	CN-DR3KXG-S0081-925-0000	


管理ページにアクセスするには、管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**：管理者パスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、ページ93の「パスワードの変更」を参照してください。

状態



4220 > システム管理者 > 状態 ホーム >>

状態	ネットワーク状態
ネットワークセットアップ	IPアドレス 192.168.3.80
投影セットアップ	サブネットマスク 255.255.255.0
パスワードの変更	デフォルトゲートウェイ 192.168.3.254
出荷時状態に戻す	MACアドレス 00:12:5F:00:1F:5B
ファームウェア更新	接続状態
プロジェクタのコントロールパネル	投影状態 投影待ち中
アラート設定	ユーザー数 0
 再起動	プロジェクターの状態
	モデル名 4220
	プロジェクタ名
	場所
	連結先
	ステータス オン
	ランプ時間 1 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態情報を表示します。

ネットワークセットアップ

ページ 50 の OSD セクションを参照してください。

The screenshot shows the Dell network configuration interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the text "4220 > システム管理者 > ネットワークセットアップ". Below this is a sidebar menu with options like "状態", "ネットワークセットアップ", "長径セットアップ", "パスワードの変更", "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新", "プロジェクトのコントロールパネル", and "アラート設定". The main content area is divided into several sections: "IP セットアップ", "DHCP セットアップ", "無線セットアップ", "RADIUS Server Setup", and "GateKeeper". Each section contains various configuration fields and radio buttons. The "IP セットアップ" section has radio buttons for "IPアドレスを自動的に取得" (selected) and "次の IP アドレスを使用する". The "DHCP セットアップ" section has radio buttons for "自動" (selected) and "無効". The "無線セットアップ" section has radio buttons for "有効" (selected) and "無効". The "RADIUS Server Setup" section has fields for IP address, port, and key. The "GateKeeper" section has radio buttons for "全て開放", "全て遮断" (selected), and "インターネットのみ開放". At the bottom right, there are "適用" and "キャンセル" buttons.

設定項目	設定値
IP セットアップ	
IPアドレスを自動的に取得	<input checked="" type="radio"/>
次の IP アドレスを使用する	<input type="radio"/>
IPアドレス	192 168 100 10
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	192 168 100 10
DNSサーバー	192 168 100 10
DHCP セットアップ	
自動	<input checked="" type="radio"/>
無効	<input type="radio"/>
開始IPアドレス	192 168 100 11
終了IPアドレス	192 168 100 254
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	192 168 100 10
DNSサーバー	192 168 100 10
無線セットアップ	
無線LAN	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
地域	---- WORLDWIDE ----
SSID	DELL 4220 WIRELESS
SSID ブロードキャスト	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
チャンネル	自動
セキュリティ	無効
キー	
RADIUS Server Setup	
IPアドレス	192 168 100 10
Port	1812
キー	
GateKeeper	<input type="radio"/> 全て開放 <input checked="" type="radio"/> 全て遮断 <input type="radio"/> インターネットのみ開放
SNMP に対してセキュリティを設定します	private

IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得を選択して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てるか、または次の IP アドレスを使用するで IP アドレスを手動で割り当てます。

DHCP セットアップ

- 自動を選択して、開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバーアドレスを DHCP サーバーから自動的にセットアップするか、または無効でこの機能を無効にします。

無線セットアップ

- **有効**を選択して**地域**、**SSID**、**SSID ブロードキャスト**、**チャンネル**、**暗号化**、**キー**をセットアップします。**無効**を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID：最大 32 の文字長。

暗号化：WPA キーを**無効**にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

キー：暗号化が有効になると、選択した暗号化モードに従ってキー値を設定する必要があります。

RADIUS セットアップ

- IP アドレス、ポートおよびキー情報をセットアップします。

GateKeeper

- 3 つのオプションがあります。

全て開放：ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。

全て遮断：ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのユーザーのアクセスをブロックします。

インターネットのみ開放：ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

SNMP に対してセキュリティを設定します

- 書き込みコミュニティ情報をセットアップします。

適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

投影セットアップ

投影セットアップ	解像度	XGA (1024x768) ▾
	認証コード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/>
プロジェクトのセットアップ	モデル名	4220
	プロジェクト名	D07987
	場所	<input type="text"/>
	連絡先	<input type="text"/>

適用 キャンセル

投影セットアップ

- **解像度**：解像度を選択します。オプション：XGA (1024 x 768) と WXGA (1280 x 800)。
- **認証コード**：プロジェクトでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
 - **無効**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
 - **ランダム**：デフォルトはランダムです。ログインコードはアトラランダムに生成されます。
 - **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

投影セットアップ

- **モデル名、プロジェクト名、場所、連絡先**情報をセットアップします (各フィールドごとに最大 21 文字)。


適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

パスワードの変更

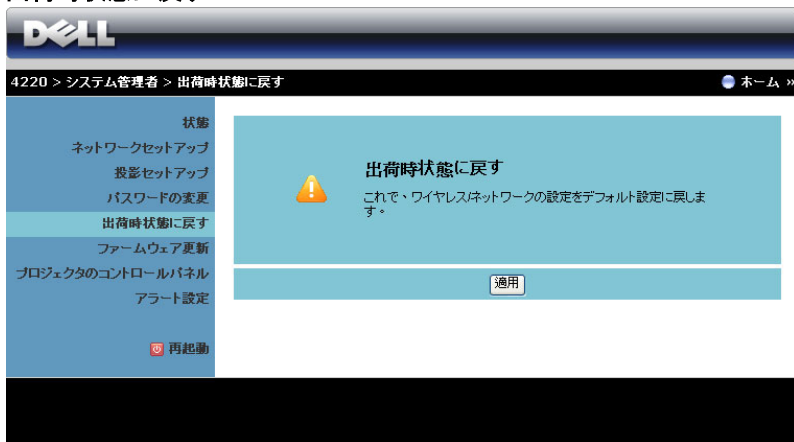
The screenshot shows the Dell system administrator interface. At the top left is the Dell logo. Below it, the breadcrumb navigation reads "4220 > システム管理者 > パスワードの変更". On the right side of the header, there is a "ホーム" (Home) button with a right-pointing arrow. A left-hand navigation menu lists various system management options: "状態", "ネットワークセットアップ", "投影セットアップ", "パスワードの変更" (highlighted in light blue), "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新", "プロジェクトのコントロールパネル", "アラート設定", and "再起動" (with a red stop sign icon). The main content area is titled "システム管理者" and contains a form with two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワード再入力" (Re-enter Password). A "適用" (Apply) button is located to the right of the second input field.

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**：新しいパスワード。
- **パスワード再入力**：パスワードを再入力して、**適用**をクリックします。

 **メモ**：管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。

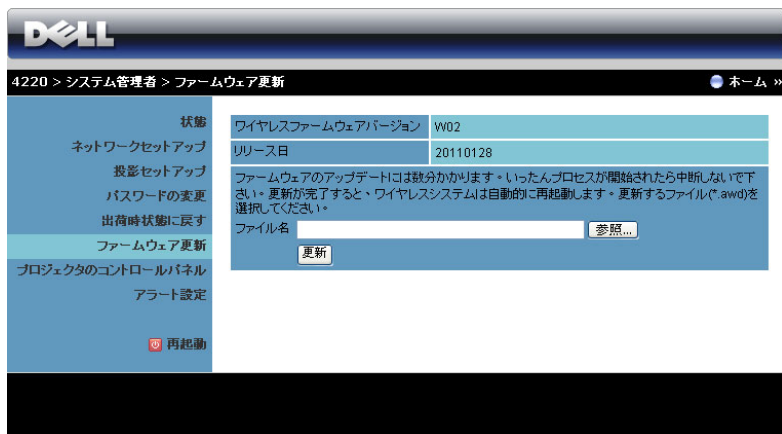
出荷時状態に戻す



適用ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス/ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

ファームウェア更新

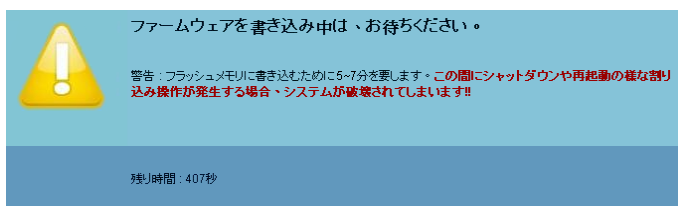
ファームウェアの更新ページを使って、プロジェクトのワイヤレスファームウェアを更新します。



メモ: ファームウェア更新リードが成功した後、OSD を使ってワイヤレス/ネットワークの無効/有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 参照を押して更新するファイルを選択します。
- 2 更新ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。



注意: 更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。

- 3 更新が完了したら、確認をクリックします。



プロジェクタのコントロールパネル

4220 > システム管理者 > プロジェクタのコントロールパネル

ホーム

状態

ネットワークセットアップ

投影セットアップ

パスワードの変更

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトタのコントロールパネル

アラート設定

再起動

プロジェクトタ情報

プロジェクトタの状態: オン [リフレッシュ]

省電力: 120分 [電源オン] [電源オフ]

アラート状態: よい [クリア]

イメージ制御

操作モード: 標準モード エコモード

投影モード: フロントプロジェクションデスクトップ

ソース選択: ワイヤレスディスプレイ

ビデオモード: プレゼンテーションモード

何もみっていない画面: オン オフ

縦横比: 元 4:3 Wide

明るさ: 46 (0-100) [設定]

コントラスト: 50 (0-100) [設定]

自動調整

オーディオ管理

オーディオ入力: ワイヤレス/LAN

ボリューム: 10 (0-20) [設定]

スピーカー: オン オフ

出荷時にリセット

プロジェクトタ情報

- プロジェクトタの状態**：次の5つのステータスがあります：ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップ。リフレッシュをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- 省電力**：省電力はオフ、30分、60分、90分、120分に設定できます。詳しくは、ページ55の「省電力」を参照してください。
- アラート状態**：3つのアラート状態があります：ランプ警告、ランプ寿命の低下、および温度警告。警報が有効になっている場合、プロジェクトタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、クリアをクリックして警報状態を消去してから、プロジェクトタの電源をオンにします。

イメージ制御

- **操作モード**：操作モードを選択します。通常モードとエコモードの、2つのオプションがあります。
- **投影モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。次の4つの投影モードがあります：投影モードには、デスクトップ前面投影、前面投影 - 天井取り付け、デスクトップ背面投影、背面投影 - 天井取り付けの4つのモードがあります。
- **ソース選択**：ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、S ビデオ、コンポジットビデオ、HDMI、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューアから選択できます。
- **ビデオモード**：プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します：
 - **プレゼンテーション**：プレゼンテーションスライドに最適です。
 - **明るさ**：最大の明るさとコントラスト
 - **映画**：映画と写真の表示用です。
 - **sRGB**：より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
 - **カスタム**：お好みの設定です。
- **何もうつついていない画面**：オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比**：縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**：値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**：値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

自動調整 ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

オーディオ管理

- **オーディオ入力**：入力ソースを選択します。オプション：オーディオ A、オーディオ B、オーディオ C、HDMI、ワイヤレス /LAN。
- **ボリューム**：オーディオボリュームに対して値 (0 ~ 20) を選択します。
- **スピーカー**：**オン**を選択してオーディオ機能を有効にしたり、**オフ**を選択してオーディオ機能を無効にしたりできます。

出荷時にリセット ボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

アラート設定

4220 > システム管理者 > アラート設定

ホーム

状態
ネットワークセットアップ
投影セットアップ
パスワードの変更
出荷時状態に戻す
ファームウェア更新
プロジェクトのコントロールパネル
アラート設定

再起動

Eメールアラート

有効 無効

メール警報テスト

宛先

Cc

発信元

件名 4220-D07987 Alert

SMTP設定

送信SMTPサーバ

ユーザー名

パスワード

警報条件

ランプ警告

ランプ寿命が短くなっています

ランプ寿命が短くなっています

保存

E メールアラート

- **E メールアラート**：E メールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- **宛先 /Cc/ 発信元**：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先 /Cc）の E メールアドレスを入力できます。
- **件名**：Eメールの件名を入力できます。

メール**警報テスト**ボタンをクリックして、Eメールアラート設定をテストします。

SMTP 設定

- **送信 SMTP サーバー、ユーザー名とパスワード**はネットワーク管理者または MIS から提供を受ける必要があります。

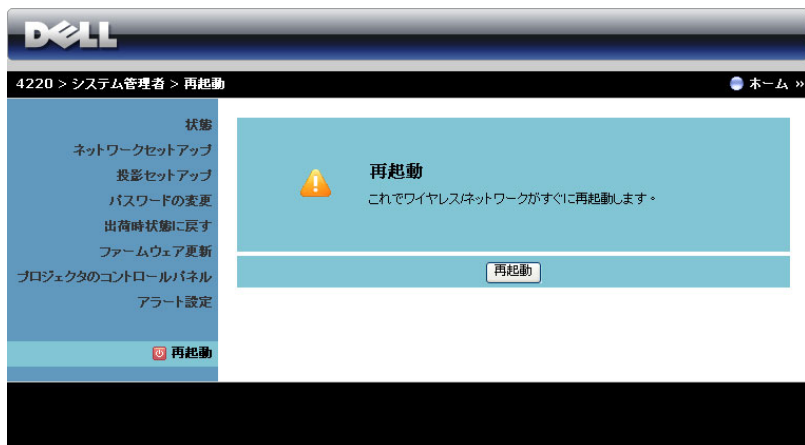
警報条件

- Eメールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、Eメールが受信者（宛先 /Cc）に送信されます。

保存ボタンをクリックして設定を保存します。

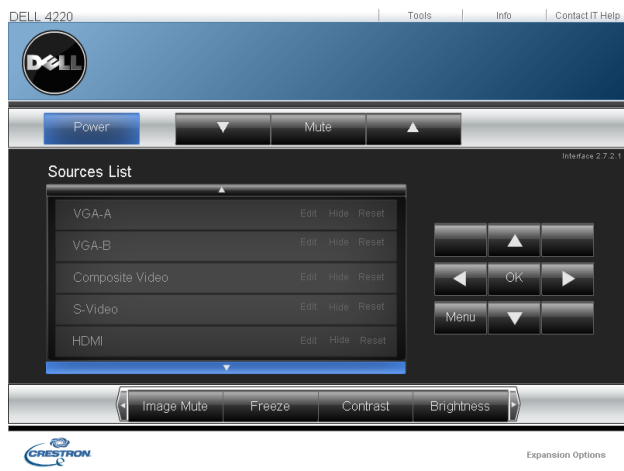
- メモ：電子メールアラートは、デフォルトの 25 ポートを使う標準の SMTP サーバーで機能するように設計されています。暗号化と認証 (SSL または TLS) はサポートしません。

再起動



再起動をクリックすると、システムが再起動します。

Crestron



Crestron 機能の場合。

よくある質問:

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 コントロールパネル → インターネットオプション → 全般 タブ → インターネット一時ファイル → 設定 → 選択ページへのすべての訪問者を順番に開きます。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP : メールサーバー間で E メールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP : 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX : AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 コンピュータ/ノートPCがインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ/ノートPCが同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして test@dell.com を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、test@dell.com アカウント情報を使用する必要もあります。

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)

Q : Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか？

A : コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

ファイアウォール 設定 保護


- | | |
|-------------------|---|
| McAfee セキュリティセンター | <ol style="list-style-type: none">1 McAfee セキュリティセンターを起動します (スタート > すべてのプログラム > McAfee > McAfee セキュリティセンター)。2 パーソナルファイアウォールプラス タブで、インターネットアプリケーションリストを表示リストをクリックします。3 リストから Dell 4220 または 4320 プロジェクトを検索し、選択します。4 その許可 カラムを右クリックします。5 ポップアップメニューから 完全アクセスを許可を選択します。 |
|-------------------|---|

-
- | | |
|------------------|---|
| Norton AntiVirus | <ol style="list-style-type: none">1 Norton AntiVirus を開きます (スタート > すべてのプログラム > Norton AntiVirus > Norton AntiVirus)。2 オプションメニューをクリックしてから、Norton AntiVirus を選択します。3 ステータス ページで、インターネットワーム保護を選択します。4 プログラムのリストから Dell 4220 または 4320 プロジェクトを検索し、選択します。5 そのインターネットアクセス カラムを右クリックします。6 ポップアップメニューから すべて許可を選択します。7 OK をクリックします。 |
|------------------|---|
-

ファイアウォール 保護	設定
Sygate パーソナル ファイアウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Sygate パーソナルファイアウォールを開きます (スタート > すべてのプログラム > Sygate > Sygate パーソナルファイアウォール)。 2 アプリケーションの実行リストから、Dell 4220 または 4320 プロジェクトを検索して右クリックします 3 ポップアップメニューから許可を選択します。
Windows ファイア ウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Windows 機能を開きます (スタート > すべてのプログラム > コントロールパネル)。Windows ファイアウォールをダブルクリックします。 2 全般タブで、例外を認めないのチェックを外します。 3 例外タブで、プログラムの追加 ボタンをクリックします。 4 プログラムのリストから Dell 4220 または 4320 プロジェクトを検索し、選択したら、OKをクリックします。 5 OKをクリックして、例外設定を確認します。
ゾーンアラーム	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます (スタート > すべてのプログラム > ゾーンラボ > ゾーンラボセンター)。 2 プログラム制御 ページで、リストから Dell 4220 または 4320 プロジェクトを検索し、選択します。 3 その アクセス-信頼 カラムを右クリックします。 4 ポップアップメニューから許可を選択します。 5 アクセス-インターネット、サーバー-信頼、および サーバー-インターネット カラムで 許可するを右クリックし、選択します。

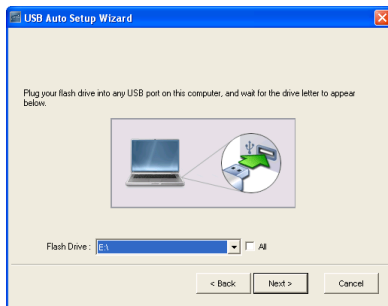
アプリケーショントークンの作成

アプリケーショントークンでは、USB トークンを使用してプラグおよび表示を実行できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアから、 > アプリケーショントークンの作成 をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。次へ をクリックします。



- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、次へ をクリックします。



- 4 終了 をクリックしてウィザードを閉じます。

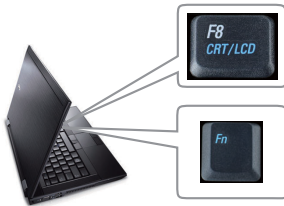


プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください (Dell™ へのお問い合わせはページ 119 の「Dell へのお問い合わせ」をご覧ください)。

問題

画面に画像が表示されません。





解決方法

- レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。
- 入力ソースメニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell™ コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 10 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (ページ 110 の「ランプの交換」をご覧ください)。
- 詳細設定メニューの投写機設定のテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。



解決方法 (続き)

- 1 リモコンまたはコントロールパネルの**自動調整**ボタンを押します。
- 2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) または XGA (1024 x 768) に設定します。
 - a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、**プロパティ**をクリックして**設定**タブを選択します。
 - b 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 または 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。
 - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。

画面にプレゼンテーションが表示されない。

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく。

OSD **詳細設定**の**画像設定**メニューでトラックリングを調整します (PC モードのみ)。

画像に縦線が入る。

OSD **詳細設定**の**画像設定**メニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない。

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、**詳細設定**タブの OSD **画像設定**で信号の種類を RGB に設定してください。
- **詳細設定**メニューの**投写機設定**の**テストパターン**を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (3.94 ft [1.2 m] ~ 32.81 ft [10 m])。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の 詳細設定メニューの 画像設定 で縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する。	<p>OSD で 詳細設定の 投写機設定 を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする。	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 110 の「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプと電源 LED がオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、電源ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度 ライトがオレンジ色で点灯	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
温度 ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。 電源 ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™; までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されません。	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押し続けて OSD のロックを解除します。ページ 53 の「メニューロック」の メニューロック を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。

ガイド信号

プロジェクト ステータス	説明	コントロール ボタン	インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ 色)	ランプ (オ レンジ色)
スタンバイ モード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ
ウォームア ップモード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備が できました。 🔍 メモ: OSD メニューにアクセスしていません。	青色	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ
省電力モード 前の冷却	プロジェクトは、省電力モードになる前に 60 秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ
プロジェクト が過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35℃を 超えていることが考えられます。プロジェクト は自動的にシャットダウンします。通気口が詰 まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあるこ とを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライ バが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰 まっていることが考えられます。プロジェクト は自動的にシャットダウンします。プロジェクト が冷却してからディスプレイの電源をもう一 度入れます。問題が解消しない場合は Dell ま でお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ
ファンが故障 しています	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクトは 自動的にシャットダウンします。問題が解消し ない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
ランプドライ バが故障して います	ランプドライバが故障しました。プロジェクト は自動的にシャットダウンします。3 分間待っ てから電源コードの接続を外し、ディスプレイ をもう一度オンにします。問題が解消しない場 合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オレンジ色 点滅
カラーホイール が故障して います	カラーホイールは始動しません。プロジェクト が故障しました。プロジェクトは自動的に シャットダウンします。3 分間待ってから電源 コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオ ンにします。問題が解消しない場合は Dell ま でお問い合わせください。	青色	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅
ランプが故障 しています	ランプが故障しています。ランプを交換しま す。	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供 給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自 動的にシャットダウンします。3 分間待っ てから電源コードの接続を外し、次に、プロ ジェクトをオンにします。問題が解消しない場 合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オレンジ色	オレンジ色
ランプモ ジュールの接 続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性 があります。ランプモジュールをチェックし、 適切にインストールされていることを確認して ください。問題が解消しない場合は Dell ま でお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色 点滅

ランプの交換

△ **注意:** この章で説明する交換処理の前に、ページ 8 の「安全上のご注意」にある「安全上のご注意」をお読みください。

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。「ランプのフルパワー操作での耐用期間がもうすぐ終了します。」ランプを交換します。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。詳しくは、「Dell™ へのお問い合わせ」ページ 119 をご覧ください。


△ **注意:** オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

△ **注意:** ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

△ **注意:** 電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ **注意:** ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

 **メモ:** Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。
- 9 詳細設定メニューの OSD パワー設定のランプ時リセットで「はい」を選択してランプ使用時間をリセットします（ページ 55 の「パワー設定」の



「詳細設定」メニューの電源設定を参照してください。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。

△ **注意**：ランプの廃棄（米国のみ）

Ⓜ 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、WWW.DELL.COM/HG、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

仕様

ライトバルブ	4220 : 0.55" XGA S450 DMD、DarkChip3™ 4320 : 0.65" WXGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	4220 : 4100 ANSI ルーメン (最大) 4320 : 4300 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比 均質性	2000 : 1 標準 (フルオン/フルオフ) 80% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	4220 : 1024 x 768 (XGA) 4320 : 1280 x 800 (WXGA)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2X 1 倍 (3D ディスプレイの場合)
投影レンズ	F ストップ : F/2.4~2.66 焦点距離、f=18.2~21.8 mm 1.2 倍マニュアルズームレンズ、固定 4220 : 投影比 = 1.6~1.92 ワイドおよび望遠 4320 : 投影比 = 1.28~1.536 ワイドおよび望遠
投影画面サイズ	4220 : 30.8 ~ 307 インチ (対角線) 4320 : 30.3 ~ 362 インチ (対角線)
投影距離	3.94~32.81 ft (1.2 m ~ 10 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L) コンポーネントビデオ入力 (VGA 経由) 1080i、720p、576i/p、480i/p コンポーネントビデオ入力 (HDMI 経由) 1080p、720p、576i/p、480i/p

電力供給	ユニバーサル AC 100-240 50-60 Hzz、PFC 入力付き
消費電力	通常モード：375 W ± 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) エコモード：320 W ± 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) 省電力モード：<10 W (ワイヤレスとネットワークオン) スタンバイモード：<0.5 W (ネットワーク、VGA_Out およびワイヤレスオフ)
オーディオ	スピーカー x2、5 W RMS
ノイズレベル	35 dB(A) ノーマルモード、32 dB(A) エコモード
質量	2.9 kg ± 0.05 lb
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	286 x 110 x 247.8 mm



環境条件	動作温度：5°C - 35°C (41°F - 95°F) 湿度：80 % 最大 保管温度：0°C - 60 °C (32 °F to 140 °F) 湿度：90 % 最大 輸送温度 -20°C ~ 60°C (-4 °F ~ 140°F) 湿度：90 % 最大
I/O コネクタ	電源：1つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット) VGA 入力 2 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用)

VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒)
(VGA-A ループスルー用)。

S ビデオ入力 : 1 つの標準 4 ピンミニ -DIN
S ビデオコネクタ (Y/C 信号用)。

コンポジットビデオ入力 : 1 つの黄色 RCA
ジャック (CVBS 信号用)

HDMI 入力 : 1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3
のサポート用)。HDCP 準拠。

アナログオーディオ入力 : 2 つの 3.5 mm ステレ
オミニフォンジャック (青) と 1 組の RCA コネ
クタ (赤 / 白)

可変オーディオ出力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミ
ニ電話ジャック (緑)。

USB (タイプ A) ポート : 写真 /PtG ビューア用
USB コネクタ x1 (JPG/PPT 形式)

USB (タイプ B) ポート : ミニ USB スレーブ
(X1) (リモートサポート用)、USB コネクタ
(X1) (USB ディスプレイのサポート用)。

RS232 ポート : ミニ -DIN 6 ピン (x1) (RS232 通
信用)。

RJ45 ポート : 1 つの RJ45 コネクタ (ネットワー
クと LAN ディスプレイを経由したプロジェクト
のコントロール用)

12 V 出力 : 1 つの 12 V DC / 200 mA 最大。リ
レースルーブット (自動画面の駆動用)。

ワイヤレスドングル

ワイヤレス標準：IEEE802.11b/g/n

ワイヤレス：ワイヤレスドングルをサポートするための1つのWiFi USB（タイプA）コネクタ（USBインターフェイスはオプションです）

OS環境：Windows 7/Vista/XP/2000、MAC OS X

サポート：プレゼンテーションスライドとプロジェクタ制御。

同時に30人までのユーザーに接続できます。

4-to-1 分割画面。画面に4つのプレゼンテーションスライドを投射します。

会議制御モード。

オーディオ投影のサポート（特別なドライバをインストールする必要性あり）

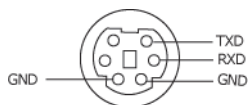
ランプ

Philips 300 W ワットユーザ交換可能ランプ（エコモードで最大2500時間）



メモ：プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は50パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約50パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート	19,200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクトへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例：電源オンコマンド（ローバイトを最初に送信）

-> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください：
support.dell.com

互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 x 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 x 900	84.842	80.430	157.000
1600 x 1200	60.000	75.000	162.000

800 x 600	119.972	76.302	73.250
1024 x 768	119.989	97.551	115.500
1280 x 720	120.000	101.563	146.250

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ: インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 support.dell.com をご覧ください。
- 2 ページ下部の**国 / 地域**の**選択**ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 ページ左側の**連絡先**をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 Dell への連絡方法を選択します。

付録：用語集

ANSI ルーメン— 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比— 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ— ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度— 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

コンポーネントビデオ— 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンポジットビデオ— ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度— 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比— 画像の中の明るい部分と暗い位部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン/ オフ完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI—16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9ft 高さ、12ft 幅の画面の対角線は 15ft です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DHCP — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP® — Digital Light Processing™ (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD — digital Micro- Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DNS — ドメイン名システム — ドメイン名を IP アドレスに翻訳するインターネットサービス。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI、HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

IEEE802.11 — ワイヤレス LAN (WLAN) 通信用の標準セット。802.11b/g/n は 2.4 GHz 帯域を使用します。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることでできる最

小距離。

NTSC—National Television Standards Committee（全米テレビ放送規格委員会）。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL—Phase Alternating Line（走査線位相反転）。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転—画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB—Red, Green, Blue（赤、緑、青）—3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

S ビデオ—4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス（明るさ、Y）とクロミナンス（色、C）と呼ばれる2本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

SECAM—ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SSID—サービスセット ID—ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

SVGA—Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ）—800 x 600 ピクセル。

SXGA—Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）—1280 x 1024 ピクセル。

UXGA Ultra Extended Graphics Array（超拡張グラフィックスアレイ）—1600 x 1200 ピクセル。

VGA—Video Graphics Array—640 x 480 ピクセルカウント。

WEP—有線と同等なプライバシー—これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

XGA Extended Video Graphics Array（拡張ビデオグラフィックスアレイ）—1024 x 768 ピクセル。

WXGA—Wide Extended Graphics Array（ワイド拡張グラフィックスアレイ）—1280 x 800 ピクセル。

ズームレンズ—可変式焦点距離のレンズで、操作する側が画像を大きくしたり、小さくしたりして表示することができます。

ズームレンズ比—レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの10フィート画像が、フルズームでは14フィートになることを意味します。

索引

D

Dell への

お問い合わせ 119

Dell へのお問い合わせ 7, 108,
110

お

オンスクリーンディスプレイ
38

アドバンス 41

オーディオ入力 41

輝度/明度差 40

自動調整 39

入力ソース 38

ヘルプ 57

ボリューム 41

オンスクリーンディスプレイ]

言語 57

ビデオモード 40

こ

コントロールパネル 31

さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 119

し

仕様

I/O コネクタ 113

RS232 プロトコル 116

明るさ 112

オーディオ 113

画素数 112

カラーホイール速度 112

環境条件 113

均質性 112

コントラスト比 112

質量 113

消費電力 113

寸法 113

電力供給 113

投影画面サイズ 112

投影距離 112

投影レンズ 112

ノイズレベル 113

ビデオ互換性 112

表示可能な色 112

ライトバルブ 112

す

ズームタブ 26

せ

接続ポート

+12 V DC アウトコネクタ 10
HDMI コネクタ 10
RJ45 コネクタ 10
RS232 コネクタ 10
S ビデオコネクタ 10
USB ディスプレイ用 UDB タイプ B コネクタ 10
USB ビューア用 UDB タイプ A コネクタ 10
VGA-A 出力 (モニターループスルー) 10
VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 10
VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 10
WiFi USB タイプ A コネクタ 10
オーディオ出力コネクタ 10
オーディオ -A 入力コネクタ 10
オーディオ -B 入力コネクタ 10
オーディオ -C 左チャンネル入力コネクタ 10
オーディオ -C 右チャンネル入力コネクタ 10
コンポジットビデオコネクタ 10
セキュリティケーブルスロット 10
電源コードコネクタ 10
ミニ USB (Mini Type B) コネクタ (リモコン用) 10

て

電話番号 119

と

投影画像の調整 25
エレベーターボタン 25
プロジェクタの高さを上げる 25
プロジェクタの高さを下げる 25
プロジェクタを下げる
傾斜調整ホイール 25
エレベーターフット 25
トラブルシューティング 105
Dell へのお問い合わせ 105

ふ

プロジェクタのズームとフォーカスの調整 26
フォーカスリング 26
プロジェクタの接続
12 V DC プラグ 22
HDMI ケーブルでの接続 20
HDMI ケーブル 20, 21, 23
RS232 ケーブル 14
RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 14
S ビデオケーブルでの接続 17
S ビデオケーブル 17
USB - USB ケーブル 12
USB-A - USB-B ケーブル 15
VGA - VGA ケーブル 12, 13
VGA - YPbPr ケーブル 19
コンピュータへ 12
コンポーネントケーブルでの接続 19
コンポジットケーブルでの接

- 続 18
- コンポジットビデオケーブル
18
- 電源コード 12, 13, 14, 15,
17, 18, 19, 20, 21,
22, 23
- 電動式投影画面 22
- プロジェクタの接続]
 - RS232 ケーブルを使ったコン
ピュータの接続 15
- プロジェクタの電源を入れる /
切る
 - プロジェクタの電源を入れる
24
 - プロジェクタの電源を切る 24

ほ

- 本体 8
 - IR レシーバ 8
 - エレベータボタン（高さ調整
用） 8
 - コントロールパネル 8
 - ズームタブ 8
 - フォーカスタブ 8
 - レンズ 8
 - レンズキャップ 8

ら

- ランプの交換 110

り

- リモコン 33
 - IR レシーバ 32